

<報告> 被災者等健康状態分析事業における 特定健診結果について



岩手県環境保健研究センター保健科学部

対象地域

東日本大震災津波被害のあった沿岸12市町村

気仙圏域・・・大船渡市、陸前高田市

釜石圏域・・・釜石市、大槌町

宮古圏域・・・宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村

久慈圏域・・・久慈市、普代村、野田村、洋野町

収集したデータ

- **平成20～令和元年度の12年間に、各市町村国民健康保険が実施した特定健診のデータ**
- 対象は、市町村国民健康保険加入者のうち、**特定健診実施年度中に40～74歳**となる者
 - ・ 平成20～29年度 公益社団法人岩手県予防医学協会及びその他健診機関等のデータ
(いわて健康データウェアハウスデータ)
 - ・ 平成30年度、令和元年度 **公益社団法人岩手県予防医学協会が実施したデータ※**
- データは個人を識別不可能化し収集しているため、受診者の被災者、非被災者の区別はされていない。また、個人を紐づけしたものではないので、同一人の受診結果を経年的に観察しているものではない。

表 年度別・受診者数(総数)

(人)

年 度	気仙圏域	釜石圏域	宮古圏域	久慈圏域	沿岸12市町村全体
平成20年度	5,041	4,828	9,090	4,975	23,934
平成21年度	4,547	4,354	10,010	5,074	23,985
平成22年度	4,507	4,184	9,819	5,225	23,735
平成23年度	3,361	3,053	7,202	5,520	19,136
平成24年度	5,078	3,651	8,530	5,568	22,827
平成25年度	5,439	3,514	8,250	5,740	22,943
平成26年度	5,034	3,553	8,206	5,691	22,484
平成27年度	4,814	3,422	7,493	5,081	20,810
平成28年度	4,426	3,219	7,228	5,206	20,079
平成29年度	4,554	3,185	7,194	5,235	20,168
平成30年度※	4,247	3,074	6,722	4,516	18,559
令和元年度※	4,176	2,874	6,243	4,670	17,963

集計項目と分析

I 年齢調整平均(検査項目)(注)

以下の項目について、被災4圏域の比較、年次推移

- ・ BMI ・ 血圧 ・ 中性脂肪 ・ HbA1c ・ γ -GT(γ -GTP)

II 年齢調整割合(検査項目と標準的な質問票項目)(注)

以下の項目について、沿岸・内陸市町村で比較、年次推移

- ・ BMI ・ 血圧 ・ 中性脂肪 ・ HbA1c ・ γ -GT(γ -GTP)
- ・ メタボ該当の状況 ・ 血圧、血糖、脂質を下げる薬の使用状況 ・ 習慣的な喫煙
- ・ 運動習慣 ・ 身体活動 ・ 朝食欠食 ・ 飲酒頻度 ・ 飲酒量 ・ 睡眠休養

III 血圧判定と服薬状況(詳細分析)

血圧判定、性・年齢階級別に血圧を下げる薬の使用状況を分析

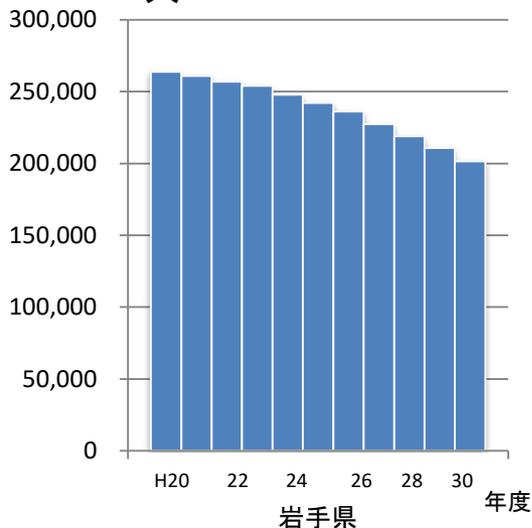
IV HbA1c判定と服薬状況(詳細分析)

HbA1c判定、性・年齢階級別に血糖を下げる薬の使用状況を分析

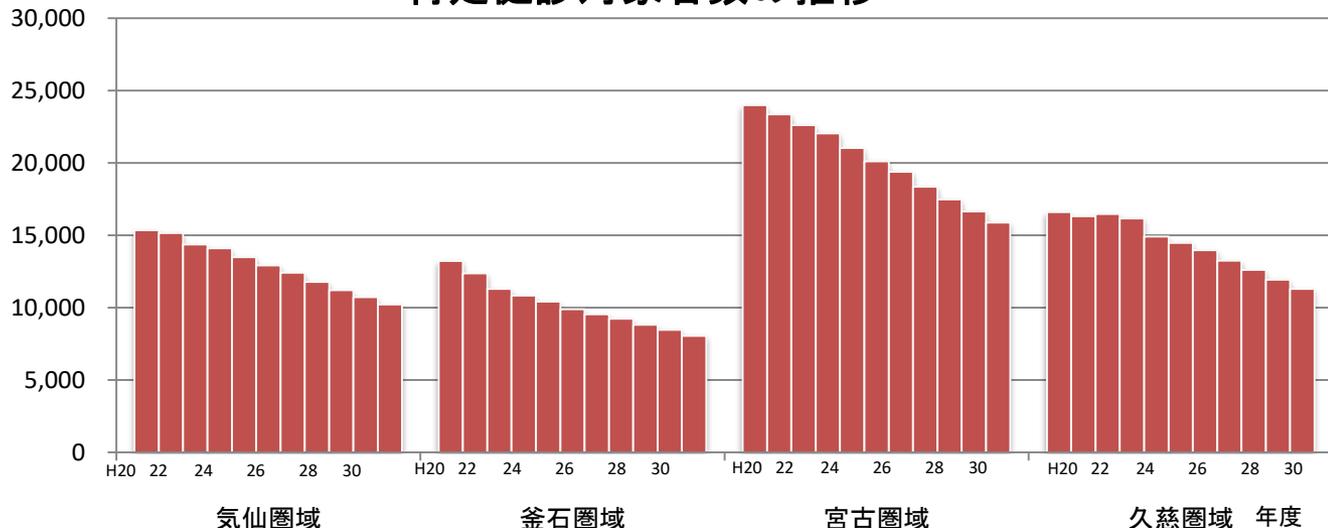
(注) 『「全国健康保険協会特定健診・特定保健指導データ分析報告書(2011~2012年度)」との比較のための年齢調整平均/割合計算シートver.1.0(2015.10.6)』※と平成20年度岩手県特定健診受診者数(33市町村国民健康保険、2健康保険組合、3共済組合を受診した数)を基準人口として、岩手県環境保健研究センターで算出した。
※「平成26年度厚生労働省科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)健診・医療・介護等データベースの活用による地区診断と保健事業の立案を含む生活習慣病対策事業を担う地域保健人材の育成に関する研究(H25・循環器等(生習)・一般-014)(研究代表:横山徹爾)の一環

平成20年度～30年度 特定健診対象者・受診者数の推移圏域別〔総数〕

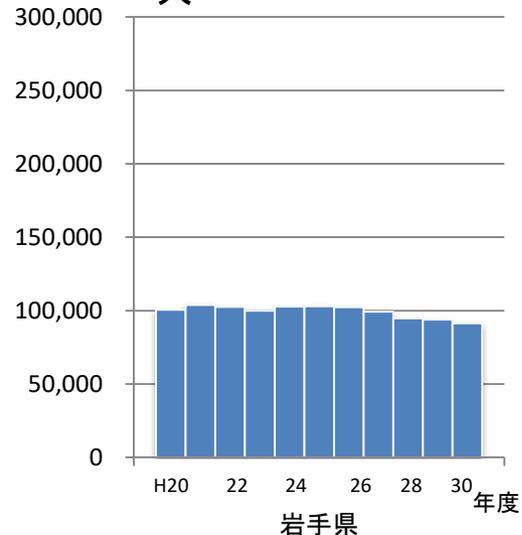
人



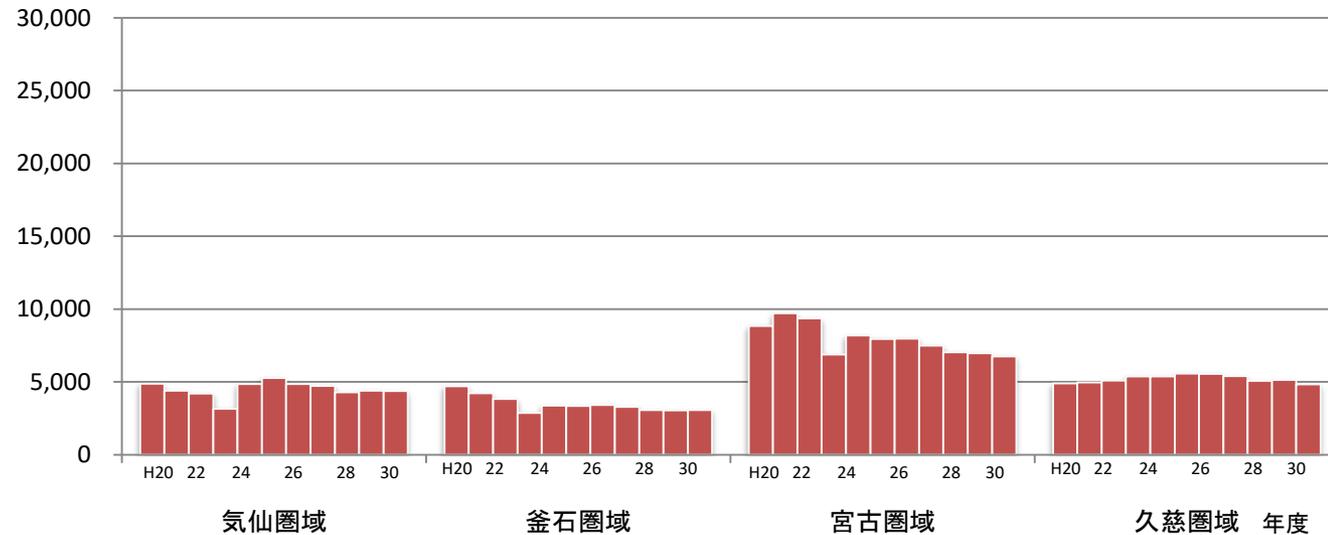
特定健診対象者数の推移



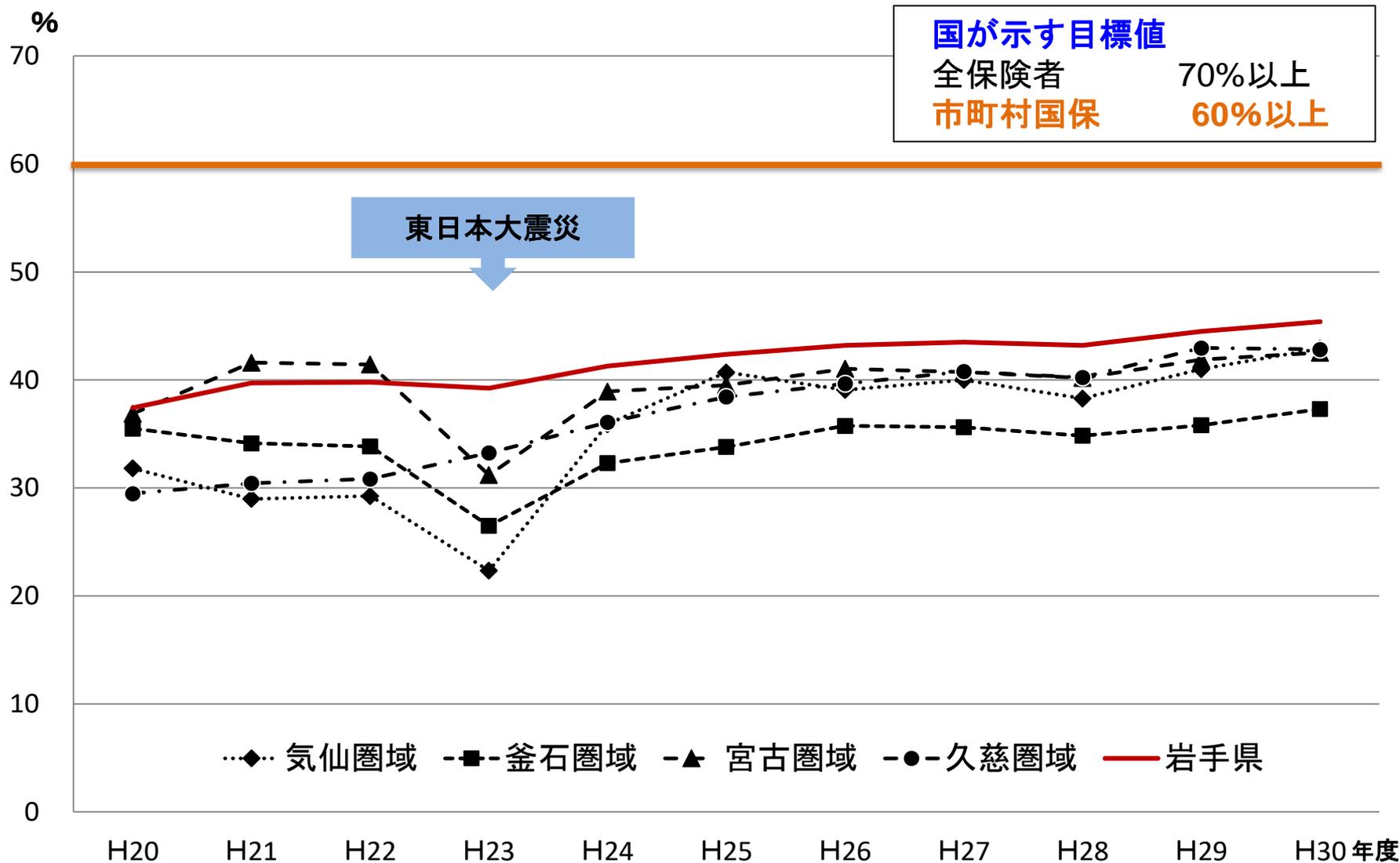
人



特定健診受診者数の推移

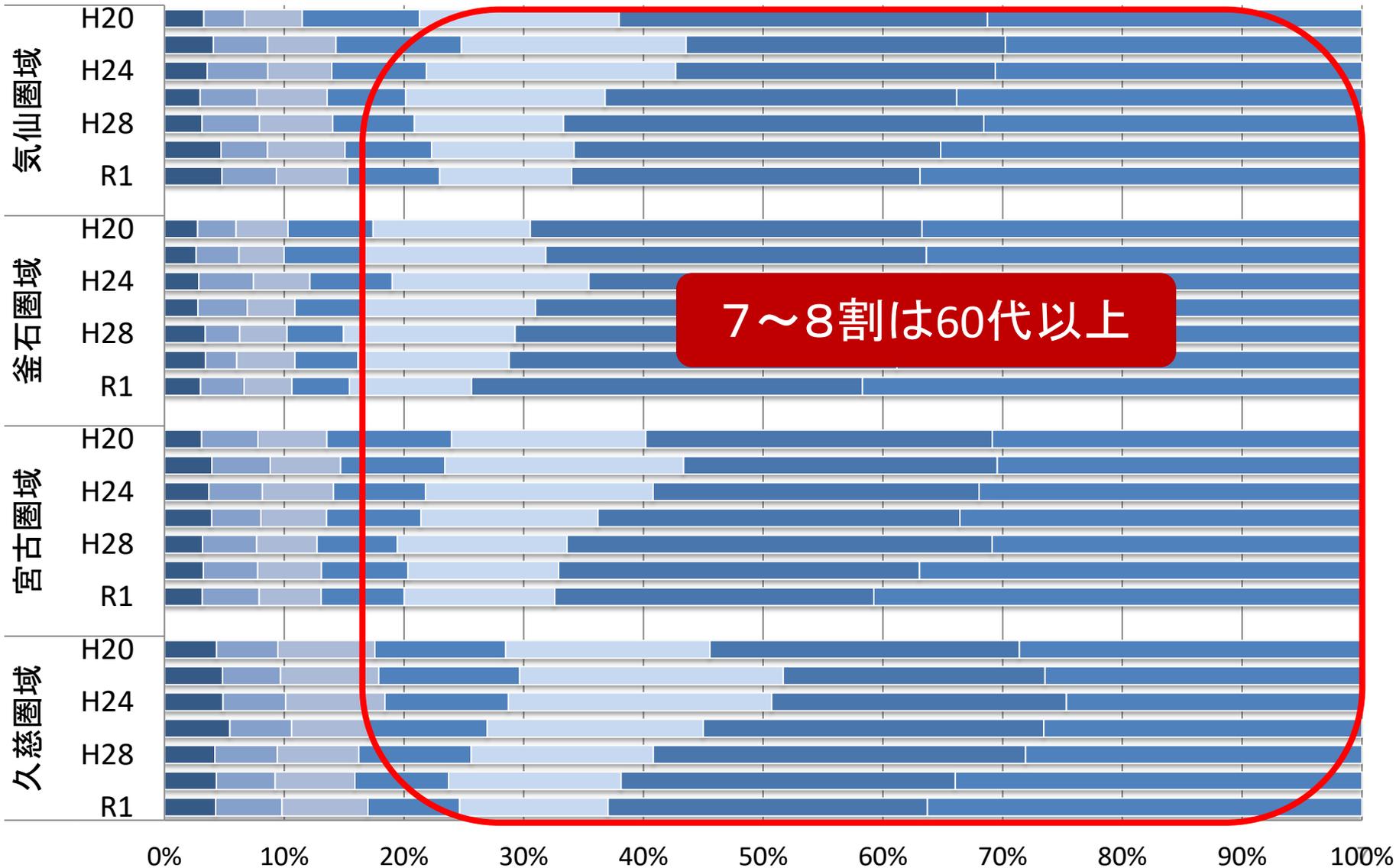


平成20年度～30年度 特定健診受診率の推移 市町村国保 圏域別〔総数〕



平成20～令和元年度 圏域別年齢階級別割合の推移〔男性〕

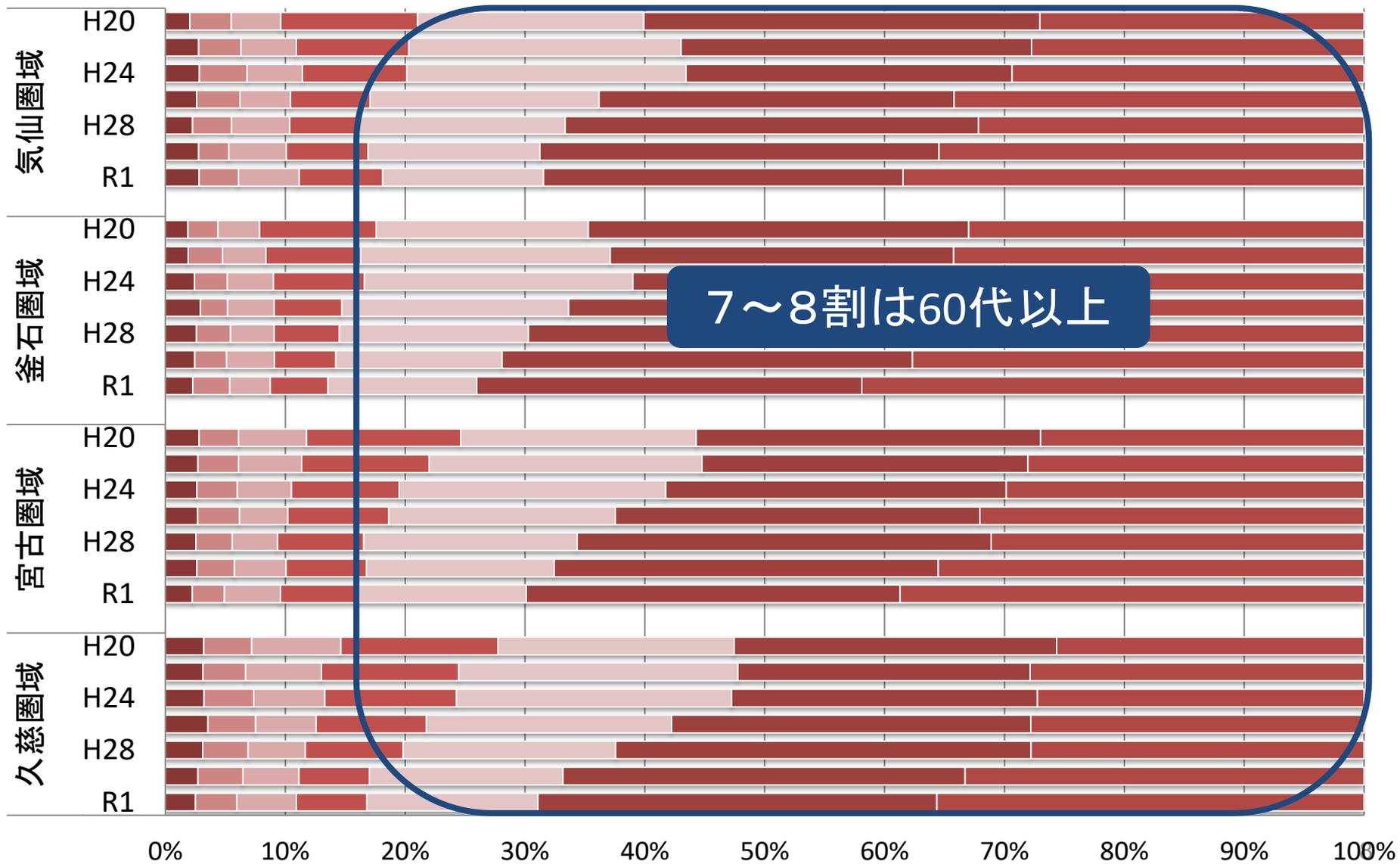
■ 40～44歳
 ■ 45～49歳
 ■ 50～54歳
 ■ 55～59歳
 ■ 60～64歳
 ■ 65～69歳
 ■ 70～74歳



7～8割は60代以上

平成20～令和元年度 圏域別年齢階級別割合の推移〔女性〕

■ 40～44歳
 ■ 45～49歳
 ■ 50～54歳
 ■ 55～59歳
 ■ 60～64歳
 ■ 65～69歳
 ■ 70～74歳



7～8割は60代以上

I 年齢調整平均 年次推移 検査項目 沿岸市町村・岩手県・全国

年齢調整とは：

地域別に保健指標を比較する際、年齢構成に差があるため、高齢者の多い地域では高くなり、若年者の多い地域では低くなる傾向がある。このような年齢構成の異なる地域間で各指標を比較ができるように年齢構成を調整すること。

年齢構成の異なる集団について、より正確に地域比較や年次を比較をすることができる。

全国、岩手県の数値は参考値です

- ・厚労省公表の第1～5回NDBオープンデータ
- ・最新年は平成29年度(令和2年12月公表)
- ・対象は全保険者で年齢調整はされていない

I -1 BMI(年齢調整平均)

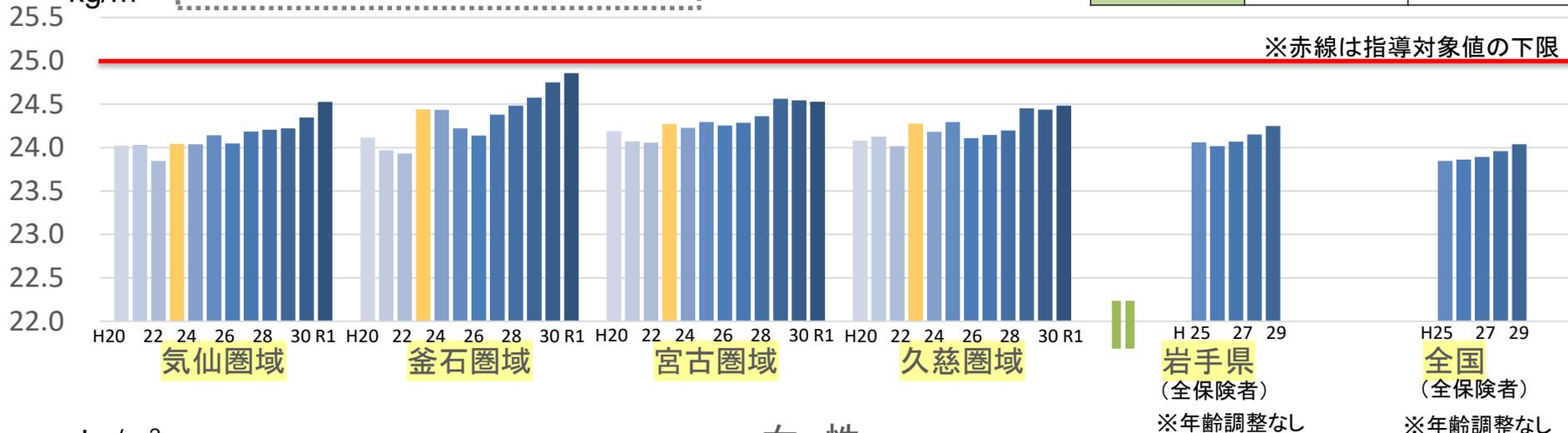
参考

H29	男	女
岩手県	24.2	22.9
全国	24.0	22.3

判定値:「やせ」18.5未満
「ふつう」18.5以上25未満
「肥満」25以上

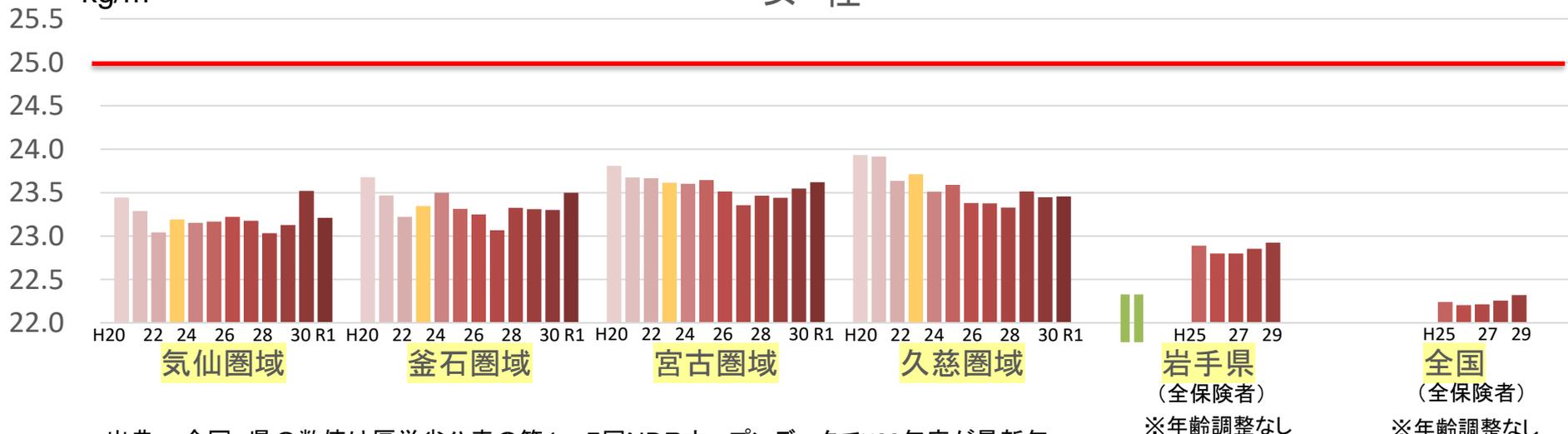
男性

kg/m²



女性

kg/m²



出典: 全国、県の数値は厚労省公表の第1~5回NDBオープンデータでH29年度が最新年。

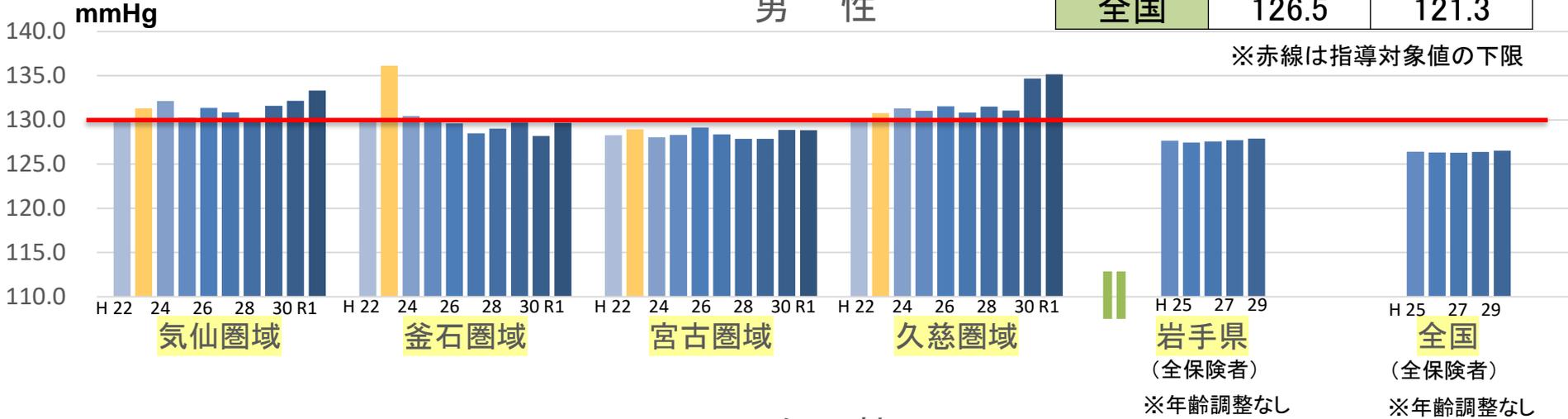
I-2-1 血圧：収縮期血圧（年齢調整平均）

判定値：「正常血圧」～129mmHg
 「正常高値血圧」130～139mmHg
 「高血圧」140～mmHg

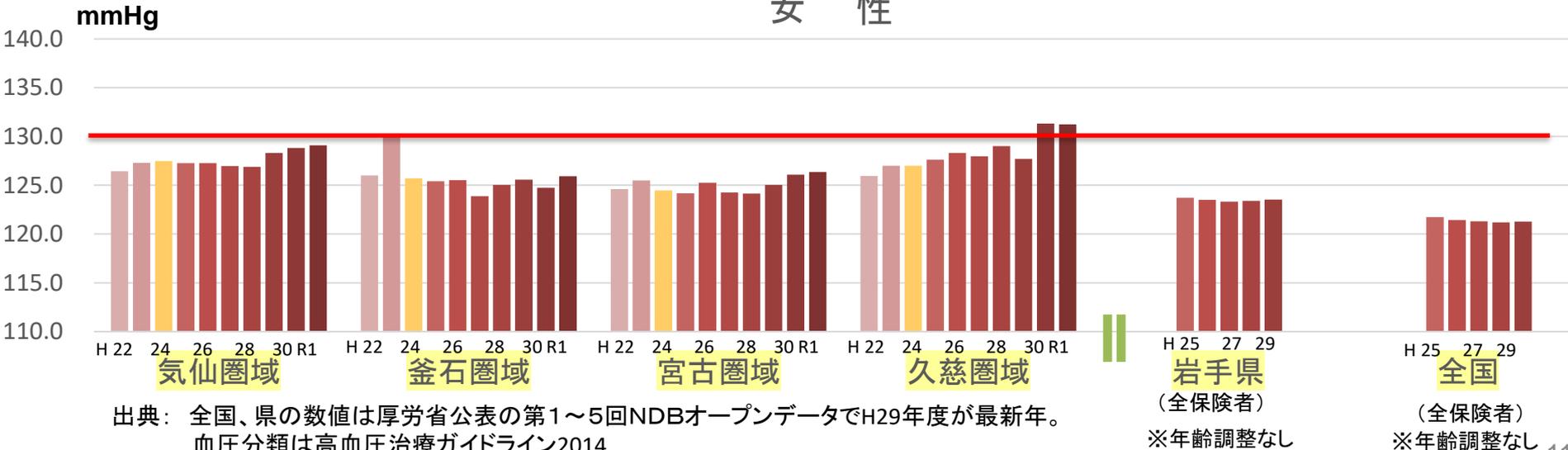
参考

H29	男	女
岩手県	127.9	123.5
全国	126.5	121.3

男性



女性



出典：全国、県の数値は厚労省公表の第1～5回NDBオープンデータでH29年度が最新年。
 血圧分類は高血圧治療ガイドライン2014

I-2-2 血圧: 拡張期血圧 (年齢調整平均)

判定値: 「正常血圧」 ~84mmHg
 「正常高値血圧」 85~89mmHg
 「高血圧」 90~mmHg

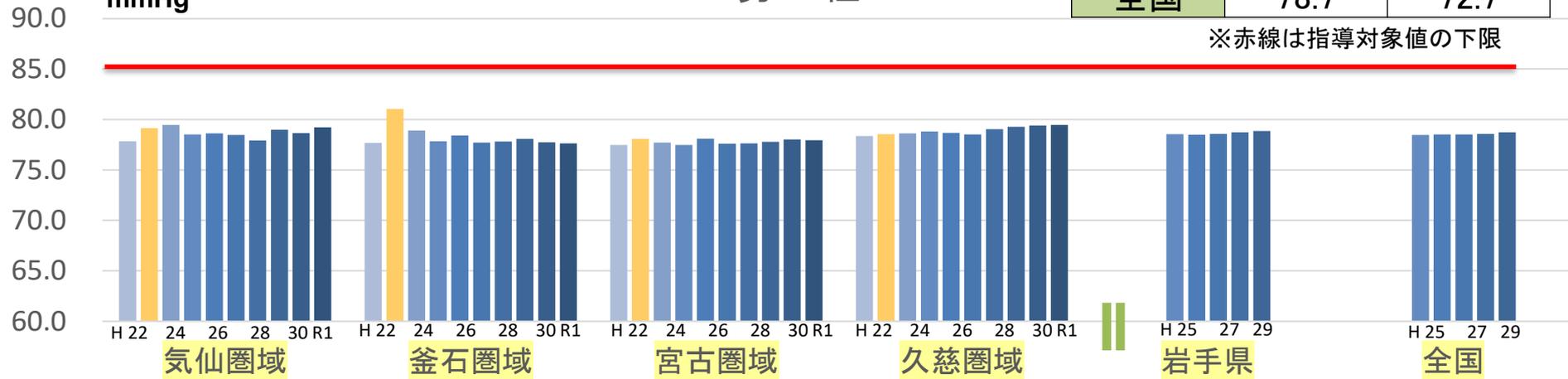
参考

H29	男	女
岩手県	78.9	73.1
全国	78.7	72.7

mmHg

男性

※赤線は指導対象値の下限

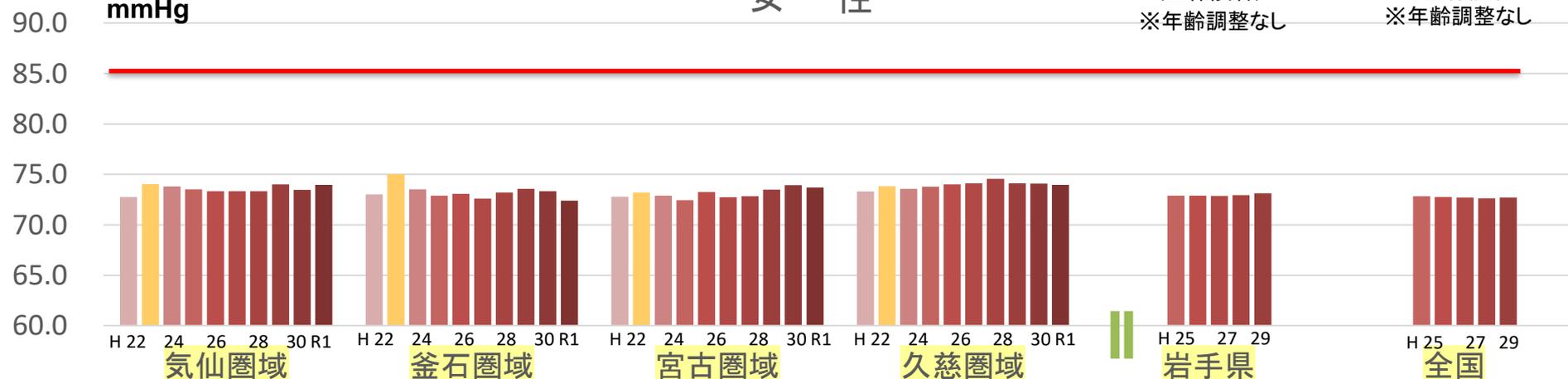


mmHg

女性

岩手県 (全保険者) ※年齢調整なし

全国 (全保険者) ※年齢調整なし



出典: 全国、県の数値は厚労省公表の第1~5回NDBオープンデータでH29年度が最新年。
 血圧分類は高血圧治療ガイドライン2014

※年齢調整なし

※年齢調整なし

I-3 中性脂肪(年齢調整平均)

判定値:「正常」150mg/dl未満

「保健指導対象」150mg/dl以上300mg/dl未満

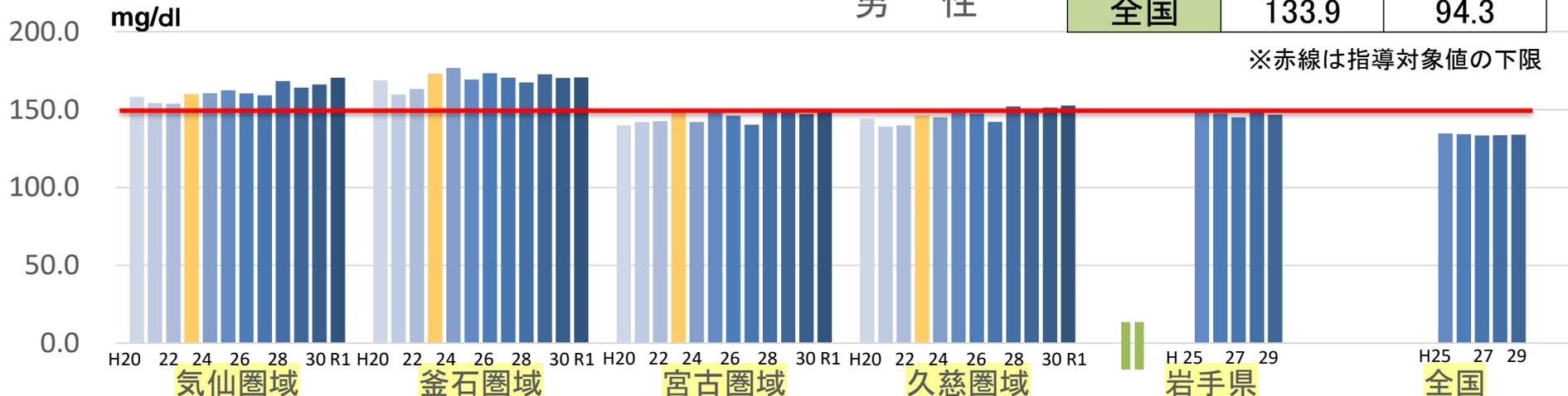
「受診勧奨対象」300mg/dl以上

参考

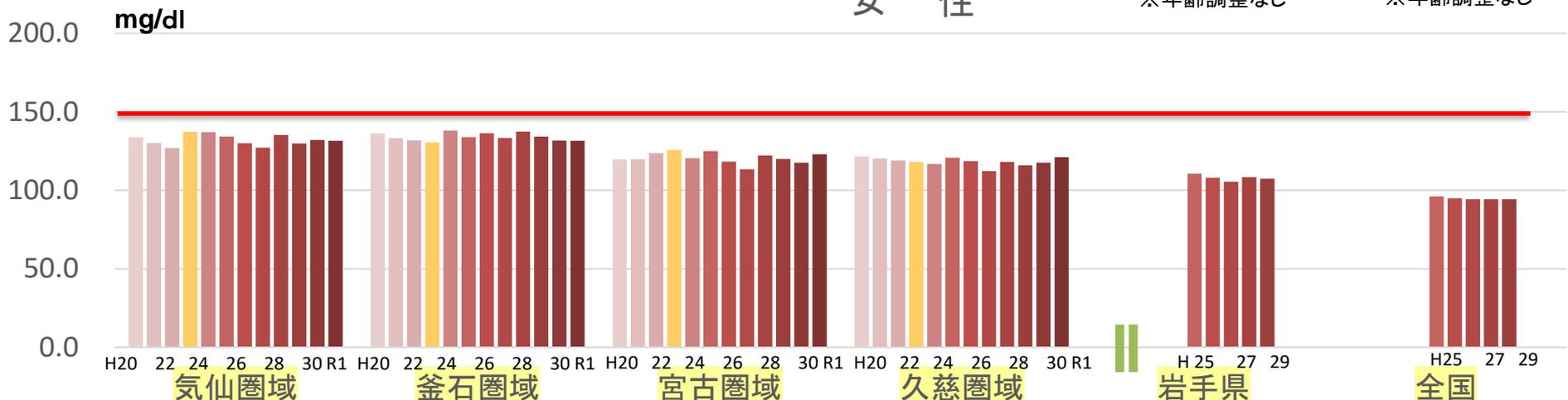
H29	男	女
岩手県	146.8	107.4
全国	133.9	94.3

男性

※赤線は指導対象値の下限



女性



出典: 全国、県の数値は厚労省公表の第1~5回NDBオープンデータでH29年度が最新年。

※年齢調整なし

※年齢調整なし

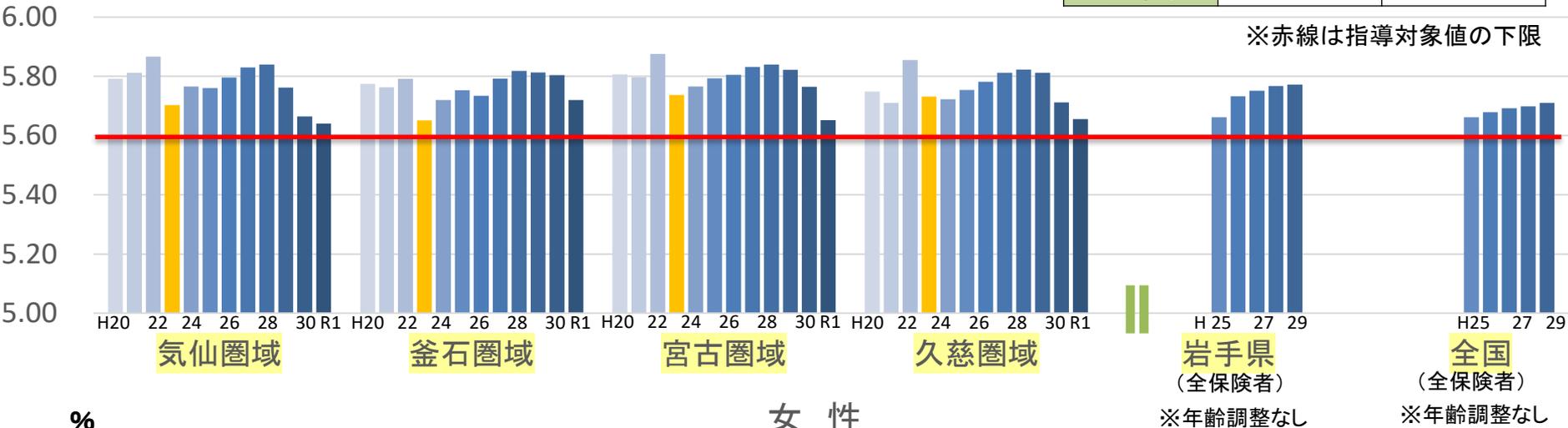
I -4 HbA1c(年齢調整平均)

判定値:「正常」5.6%未満
 「保健指導対象」5.6%以上6.5%未満
 「受診勧奨対象」6.5%以上

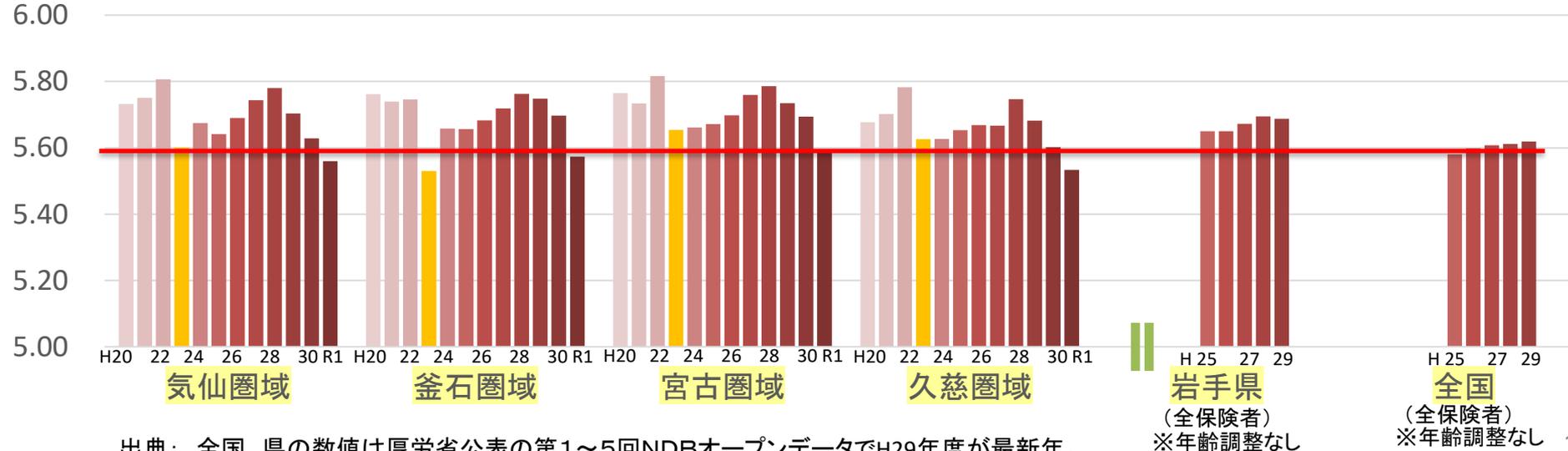
参考

H29	男	女
岩手県	5.77	5.69
全国	5.71	5.62

男性



女性



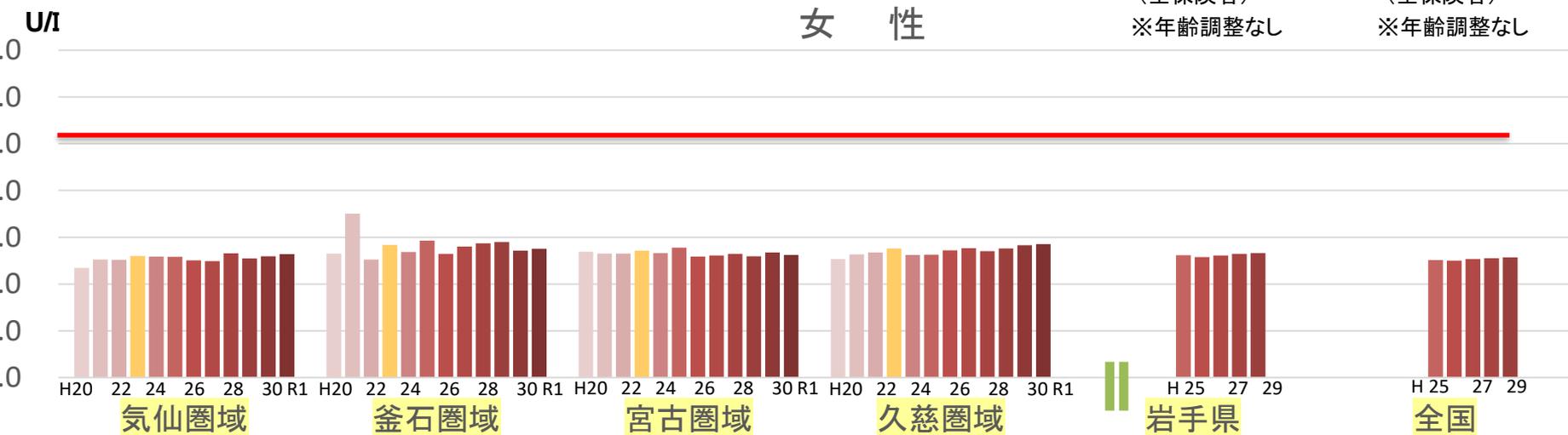
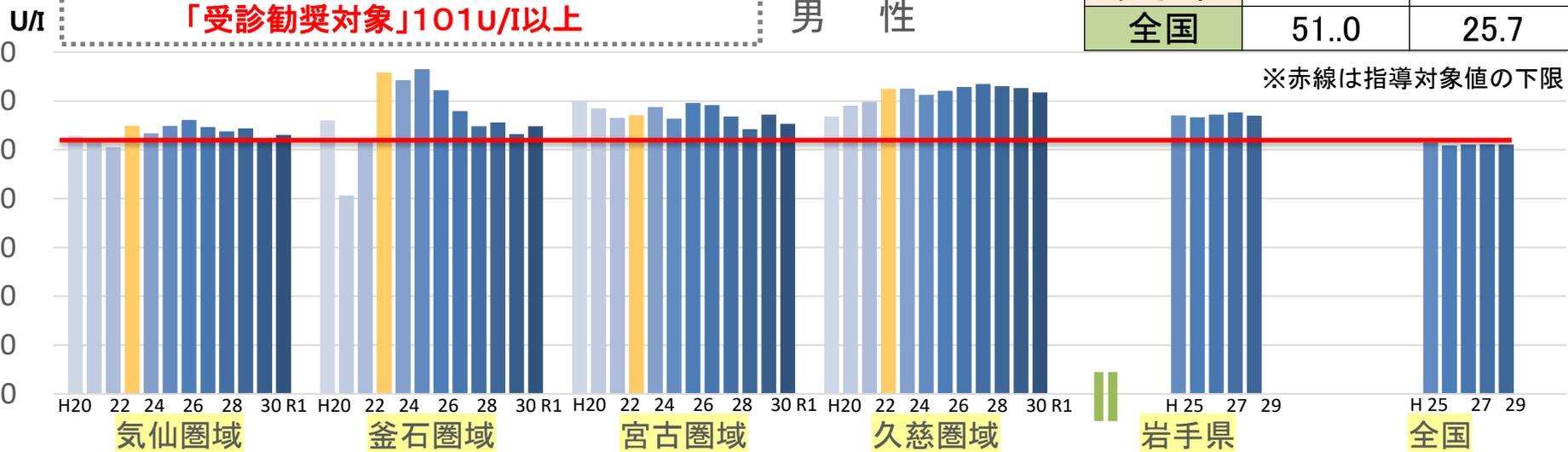
出典: 全国、県の数値は厚労省公表の第1~5回NDBオープンデータでH29年度が最新年。

I -5 γ -GT (GTP) (年齢調整平均)

参考

H29	男	女
岩手県	57.0	26.6
全国	51.0	25.7

判定値: 「正常」51U/I未満
 「保健指導対象」51U/I以上101U/I未満
 「受診勧奨対象」101U/I以上



出典: 全国、県の数値は厚労省公表の第1~5回NDBオープンデータでH29年度が最新年。

※年齢調整なし

※年齢調整なし

Ⅱ 年齢調整割合 年次推移

検査項目・標準的な質問票項目

市町村国保 内陸・沿岸比較

沿岸：12市町村（H20年度～H元年度）

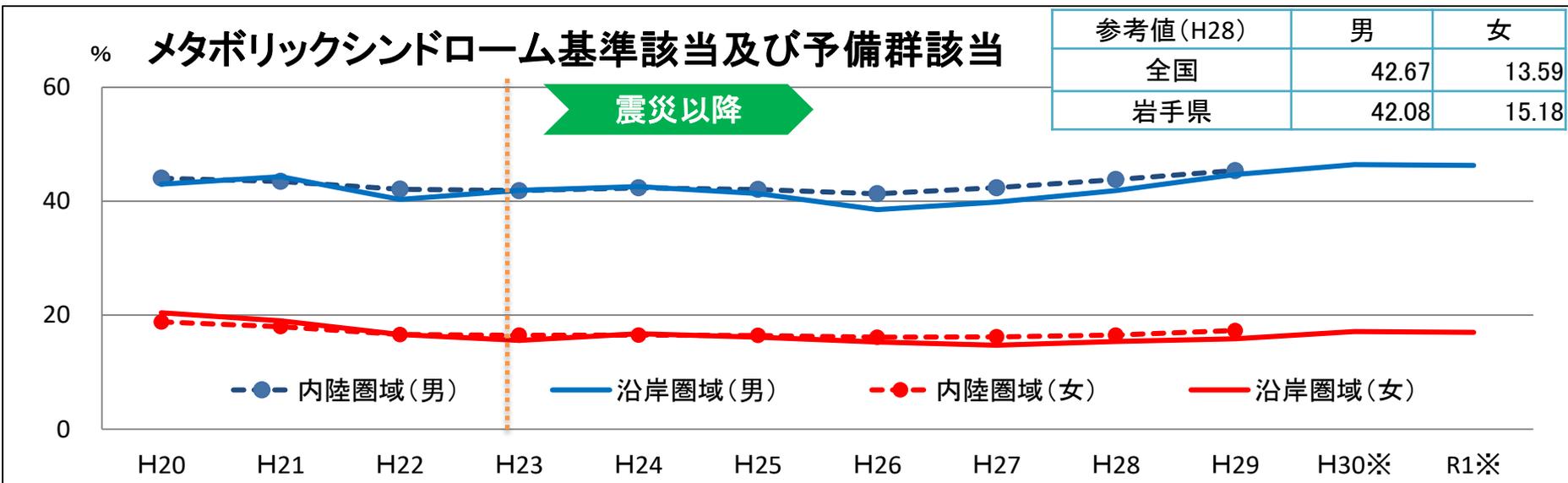
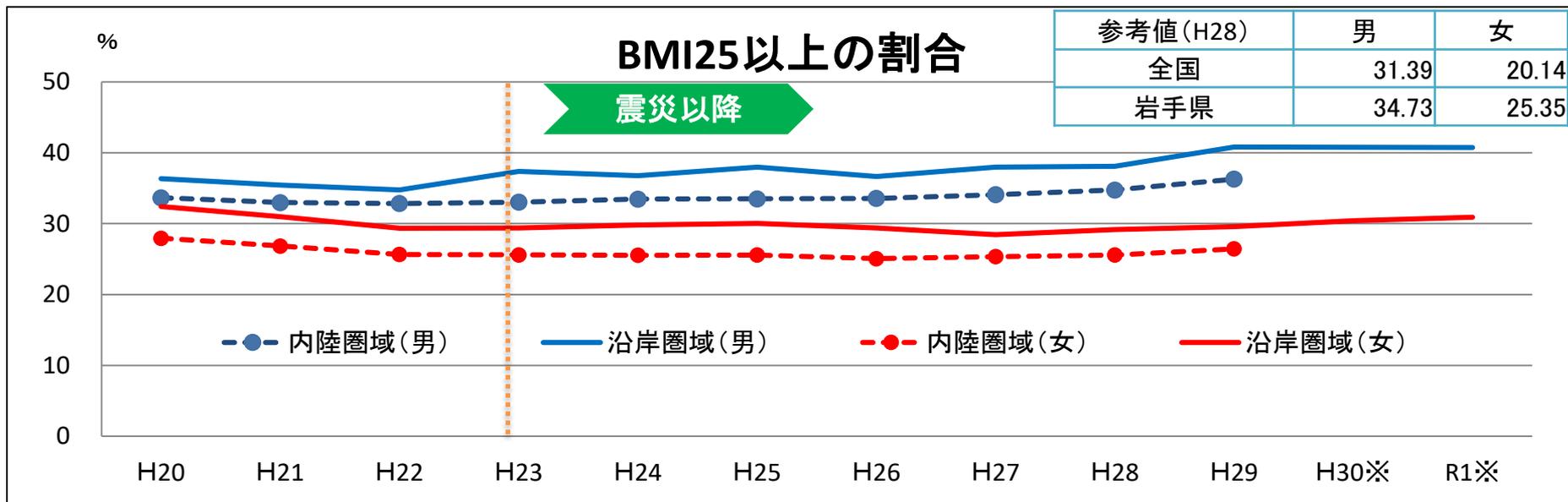
内陸：上記以外の21市町村（H20年度～29年度）

年齢調整とは：

地域別に保健指標を比較する際、年齢構成に差があるため、高齢者の多い地域では高くなり、若年者の多い地域では低くなる傾向がある。このような年齢構成の異なる地域間で各指標を比較ができるように年齢構成を調整すること。

年齢構成の異なる集団について、より正確に地域比較や年次を比較をすることができる。

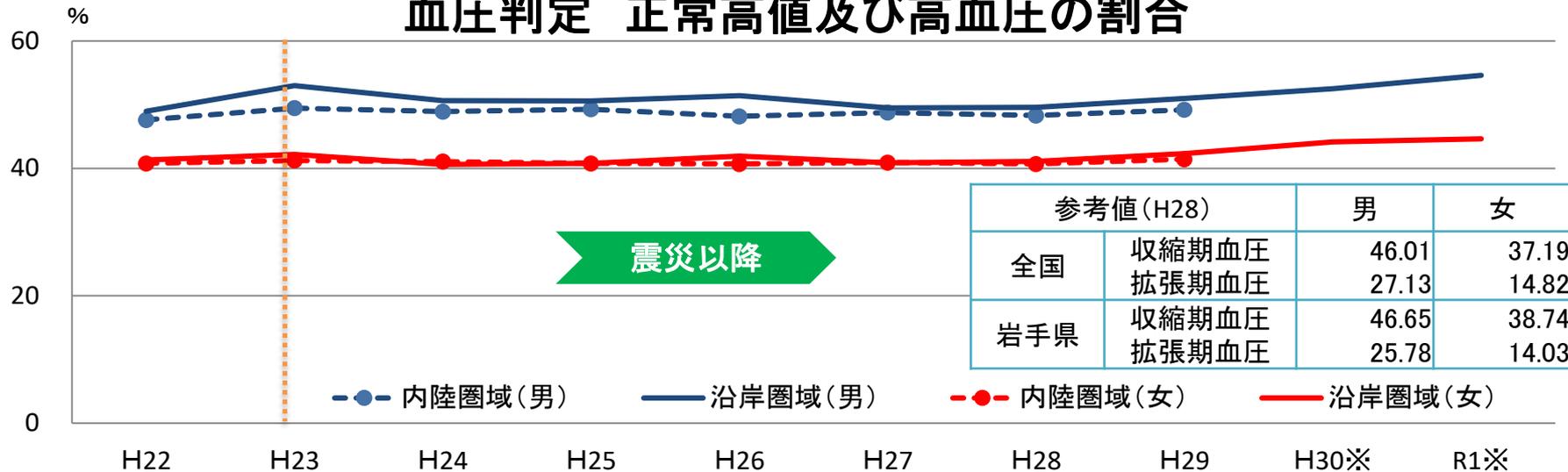
Ⅱ-1 BMI25以上・メタボ該当(年齢調整割合)



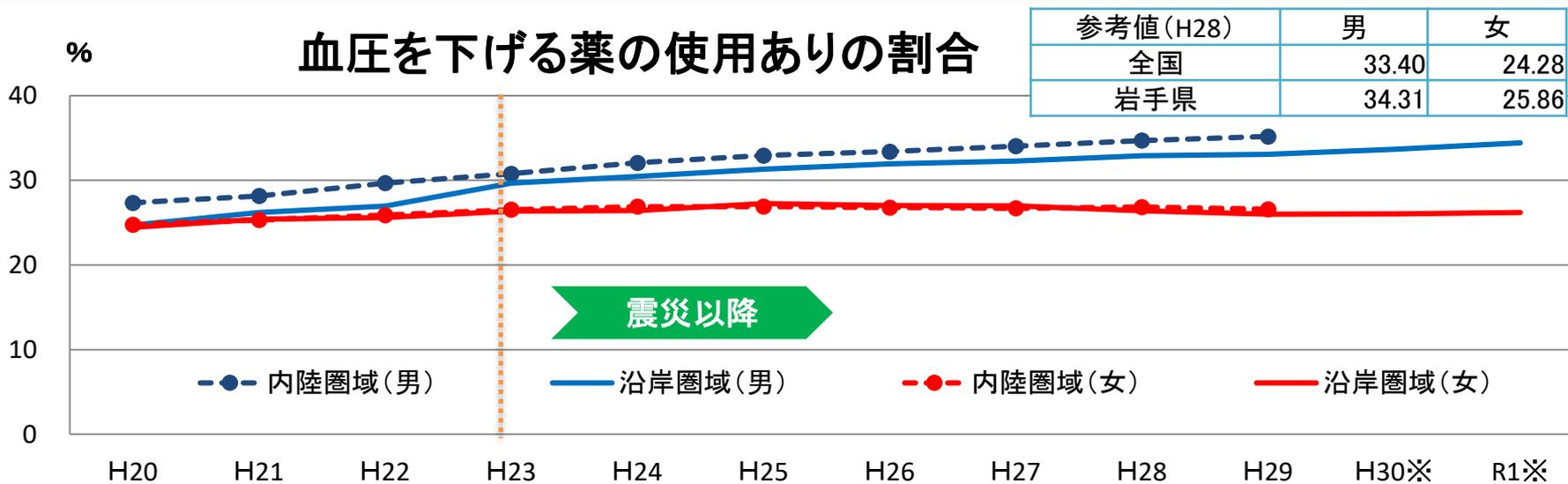
【参考】: 厚労省公表の第4回NDBオープンデータ(全医療保険者分の合計)。公表データ(H28)を基に環境保健研究センターで年齢調整割合を算出。

Ⅱ-2 血圧判定・血圧を下げる薬の使用(年齢調整割合)

血圧判定 正常高値及び高血圧の割合

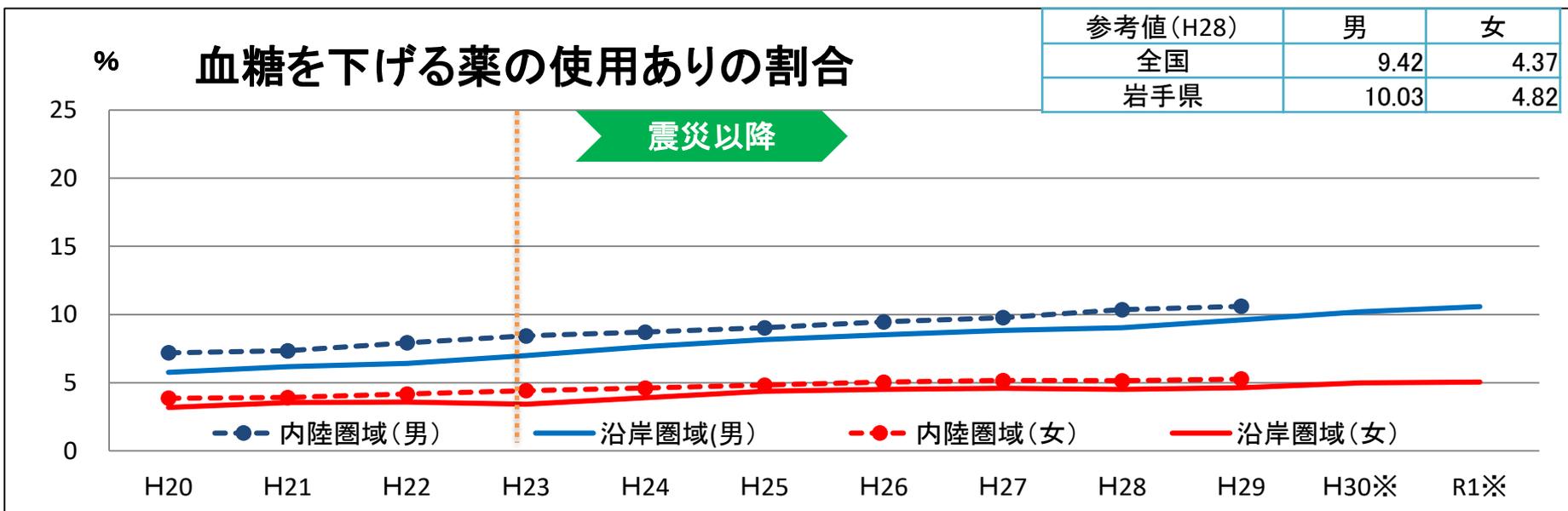
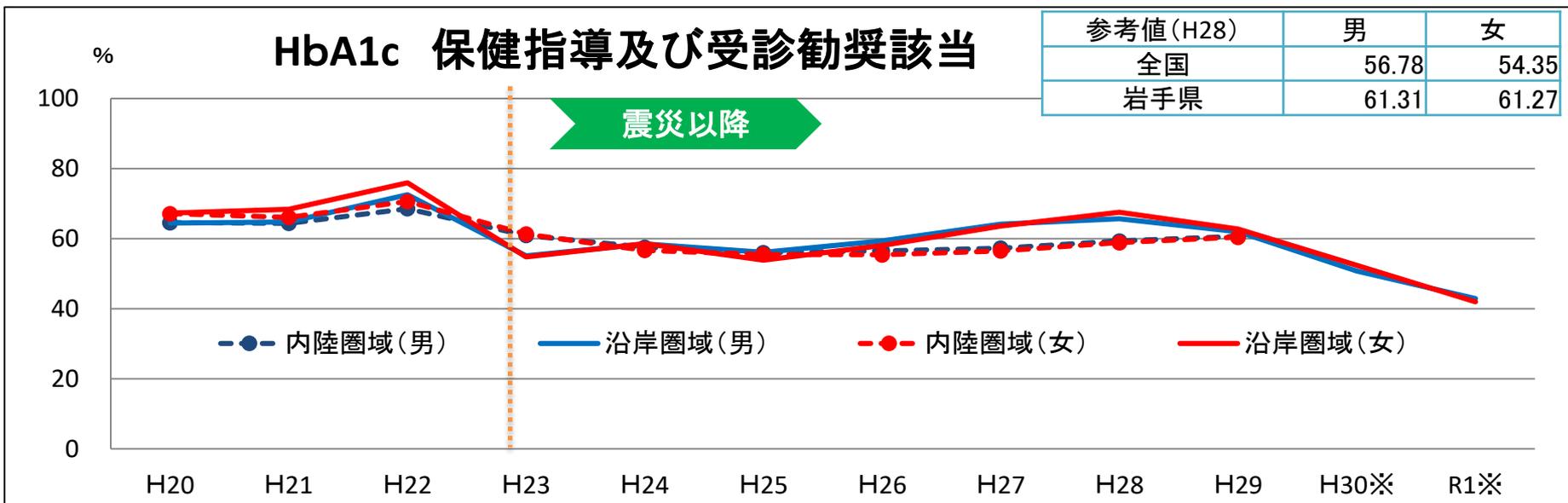


血圧を下げる薬の使用ありの割合



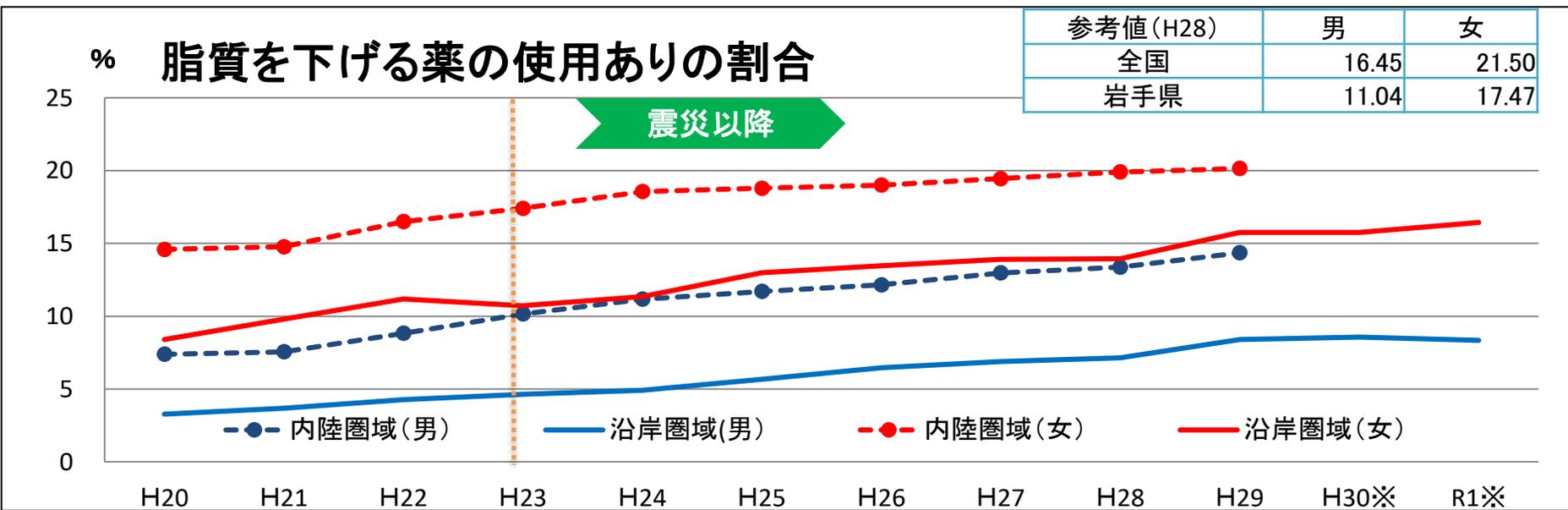
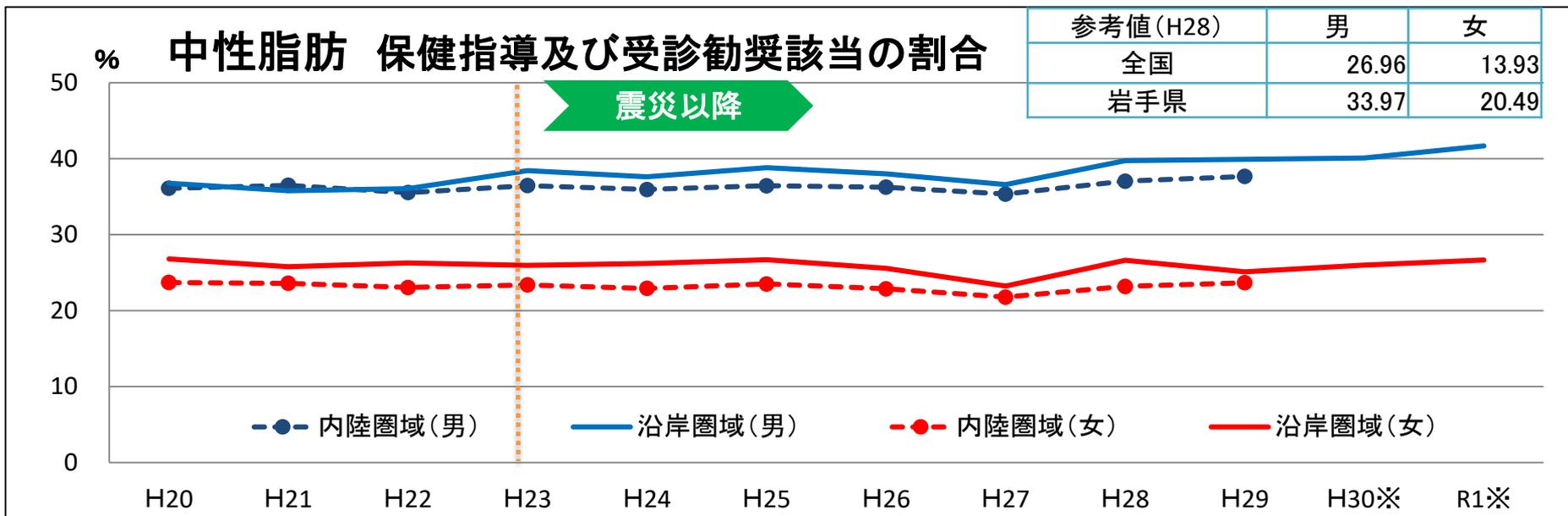
【参考】: 厚労省公表の第4回NDBオープンデータ(全医療保険者分の合計)。公表データ(H28)を基に環境保健研究センターで年齢調整割合を算出。

Ⅱ-3 HbA1c・血糖を下げる薬の使用(年齢調整割合)



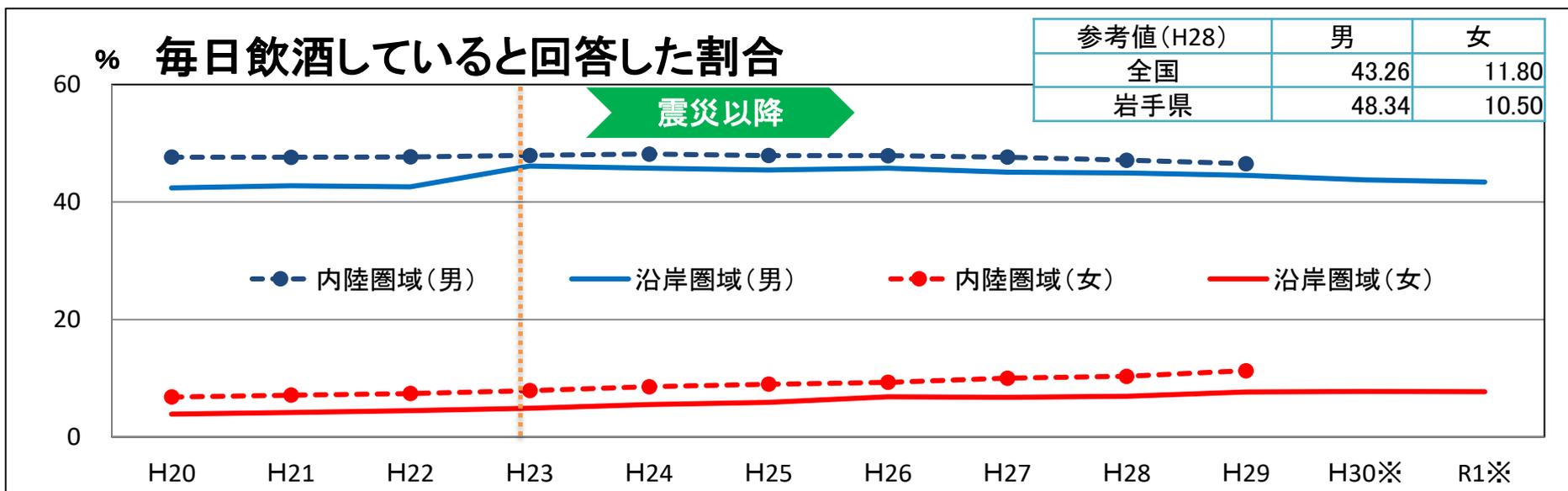
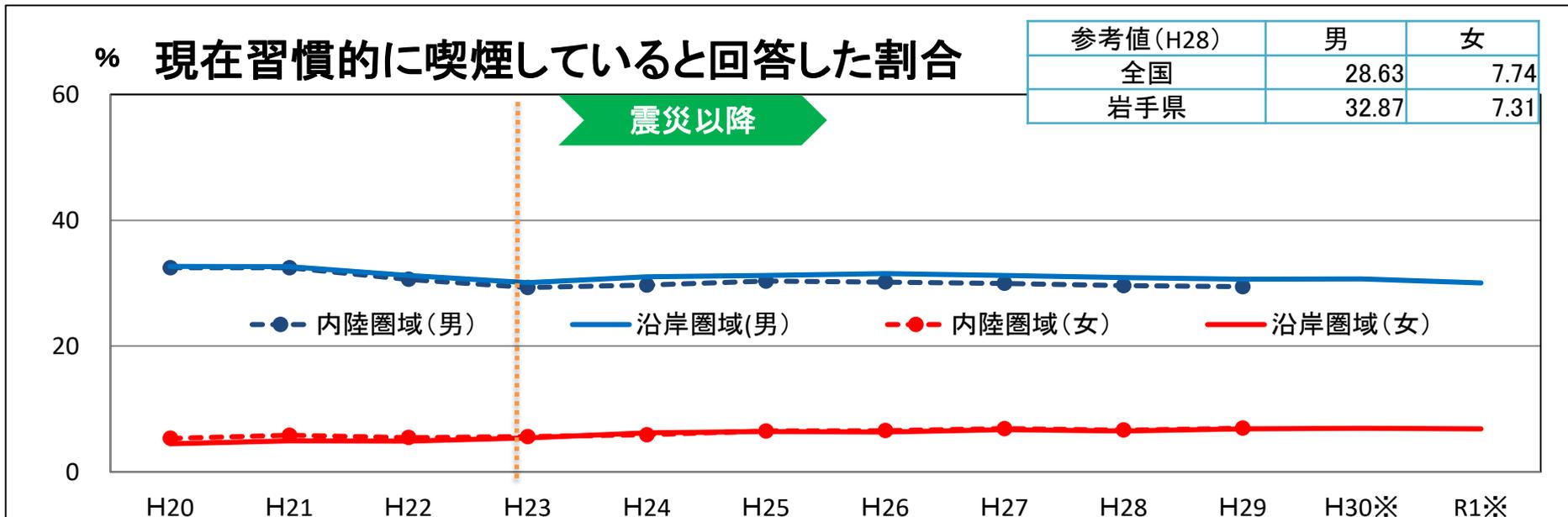
【参考】: 厚労省公表の第4回NDBオープンデータ(全医療保険者分の合計)。公表データ(H28)を基に環境保健研究センターで年齢調整割合を算出。

Ⅱ-4 中性脂肪・脂質を下げる薬の使用(年齢調整割合)



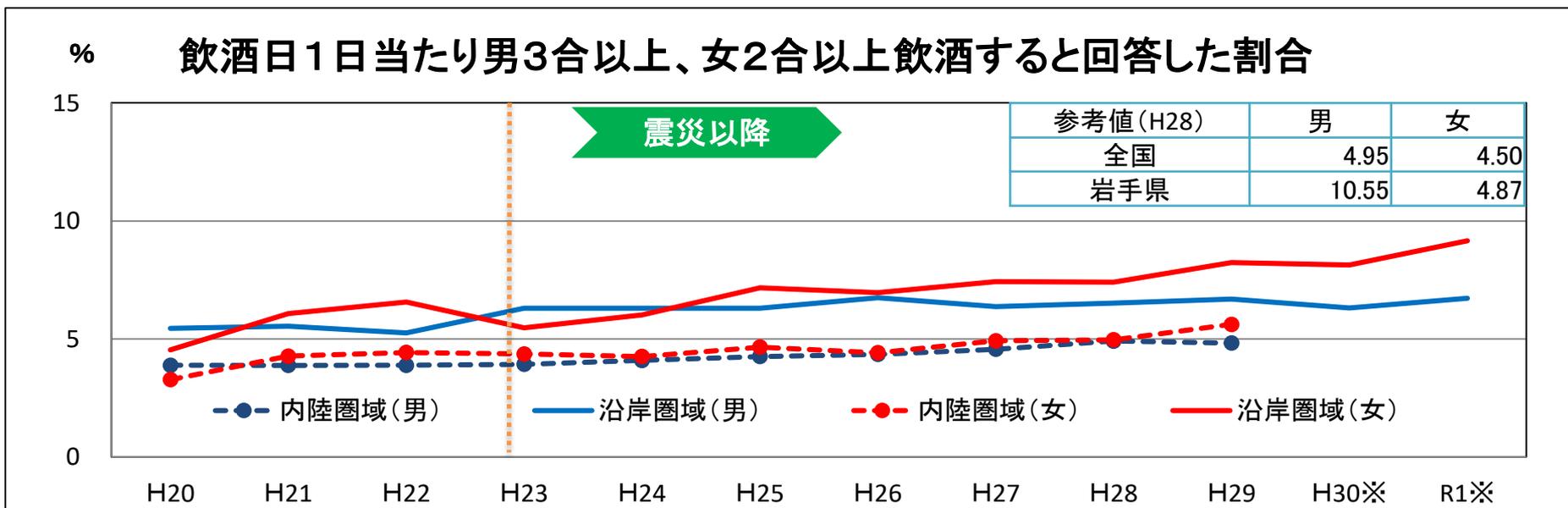
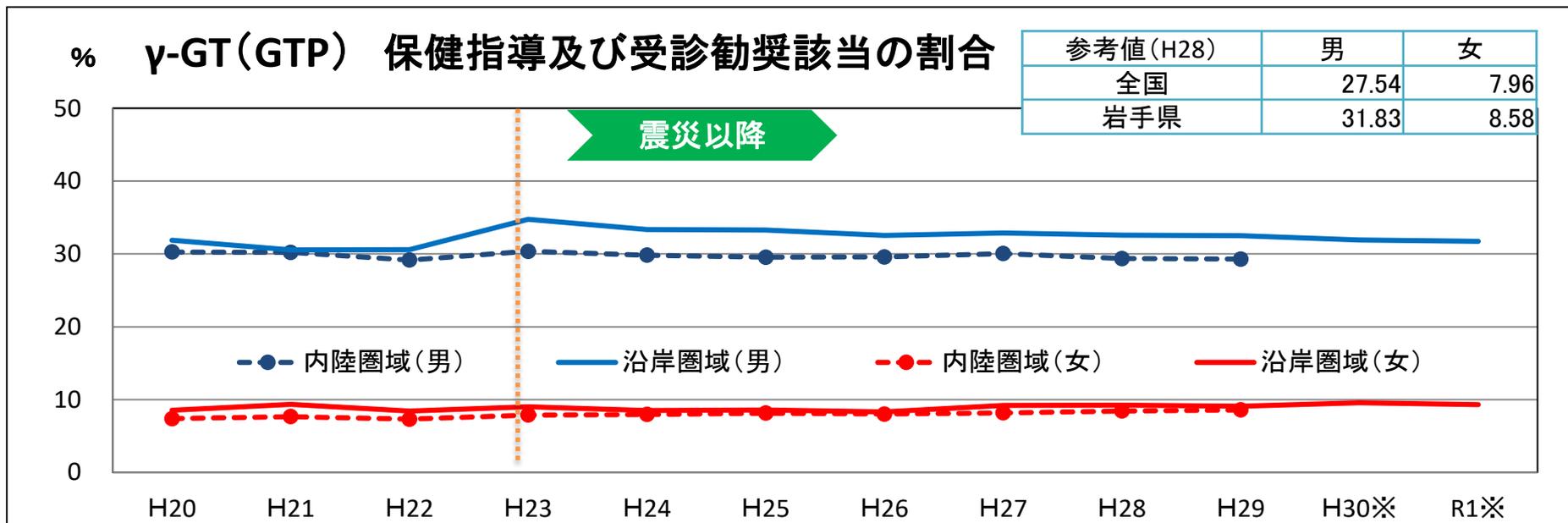
【参考】: 厚労省公表の第4回NDBオープンデータ(全医療保険者分の合計)。公表データ(H28)を基に環境保健研究センターで年齢調整割合を算出。

Ⅱ-5 習慣的な喫煙・飲酒(年齢調整割合)



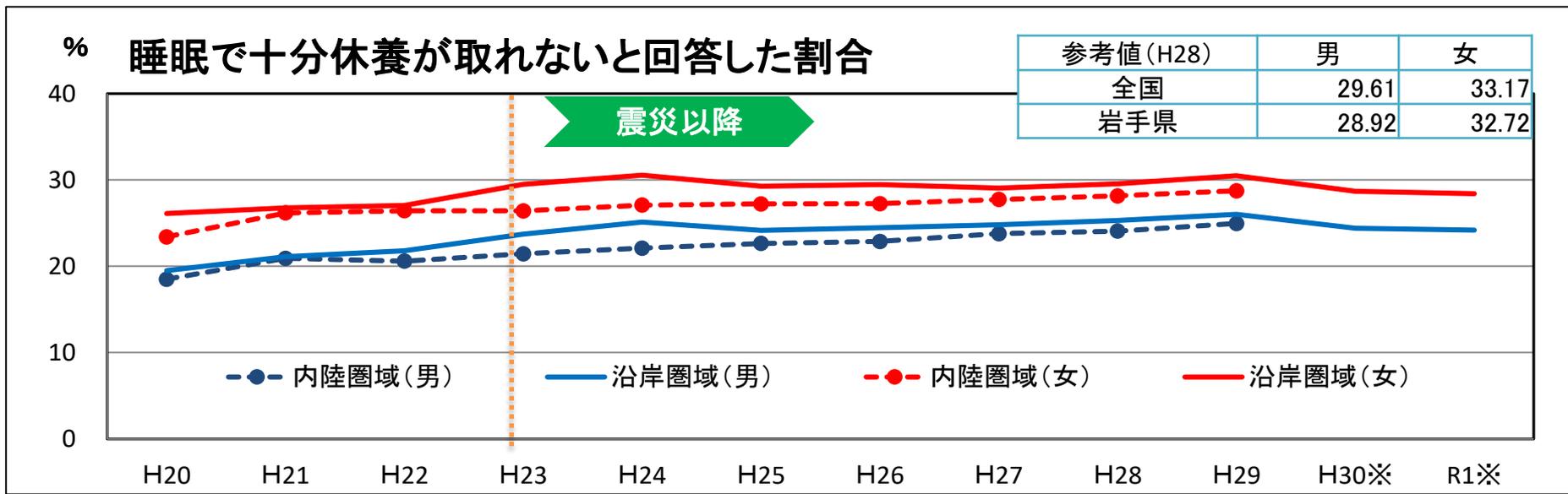
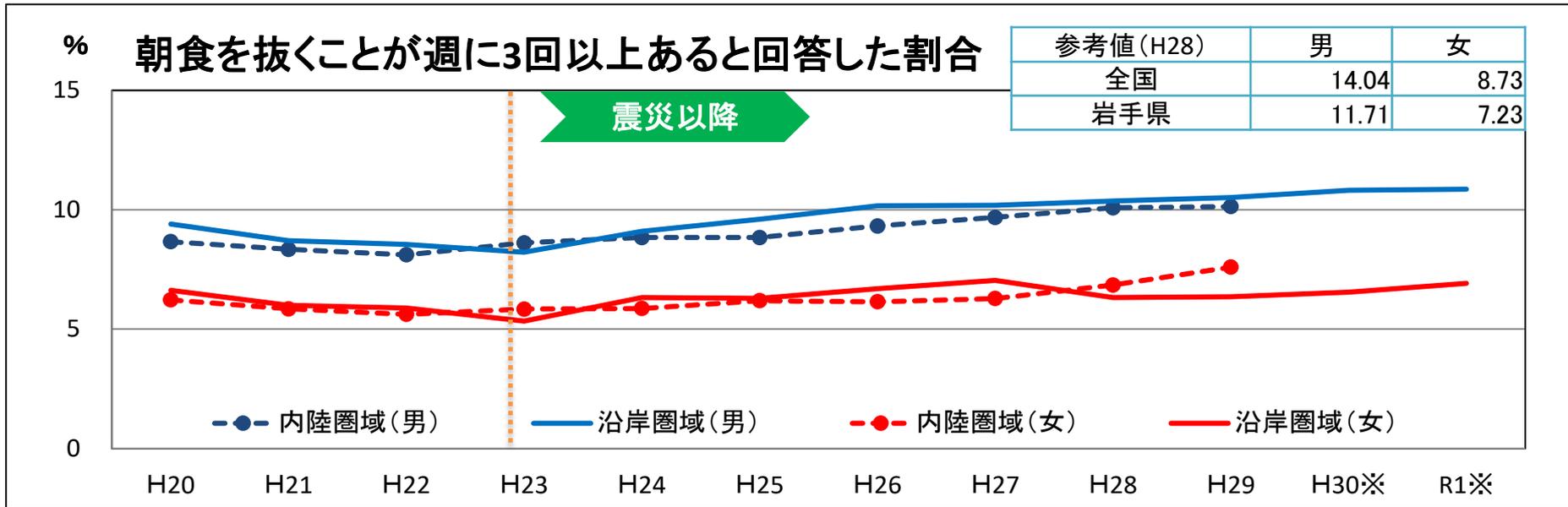
【参考】: 厚労省公表の第4回NDBオープンデータ(全医療保険者分の合計)。公表データ(H28)を基に環境保健研究センターで年齢調整割合を算出。

Ⅱ-6 γ -GT(GTP)・多量飲酒(年齢調整割合)



【参考】:厚労省公表の第4回NDBオープンデータ(全医療保険者分の合計)。公表データ(H28)を基に環境保健研究センターで年齢調整割合を算出。

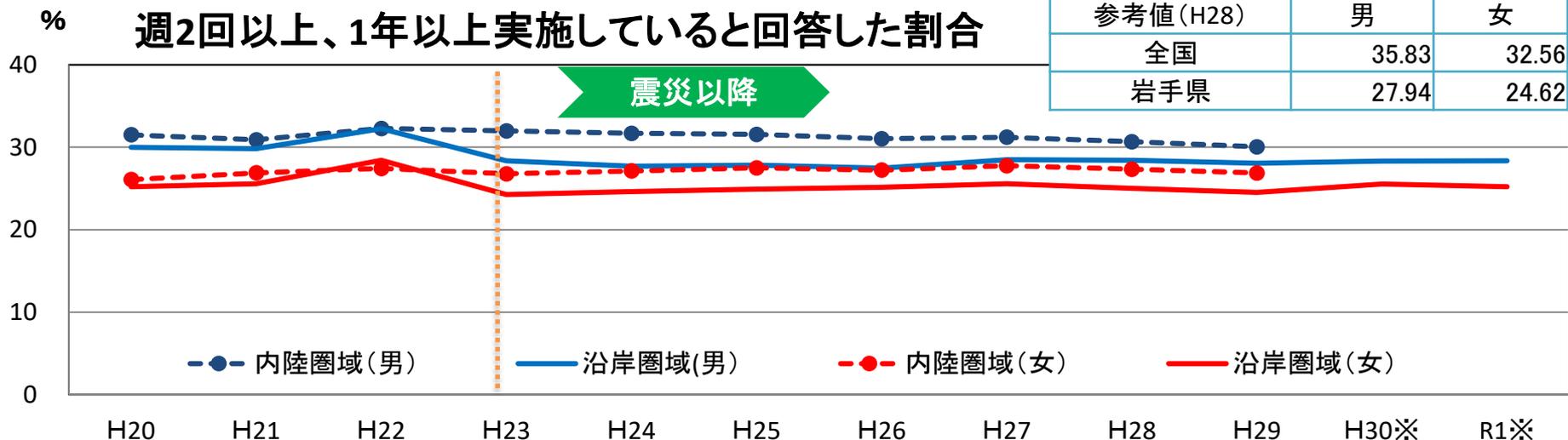
Ⅱ-7 朝食欠食・睡眠休養（年齢調整割合）



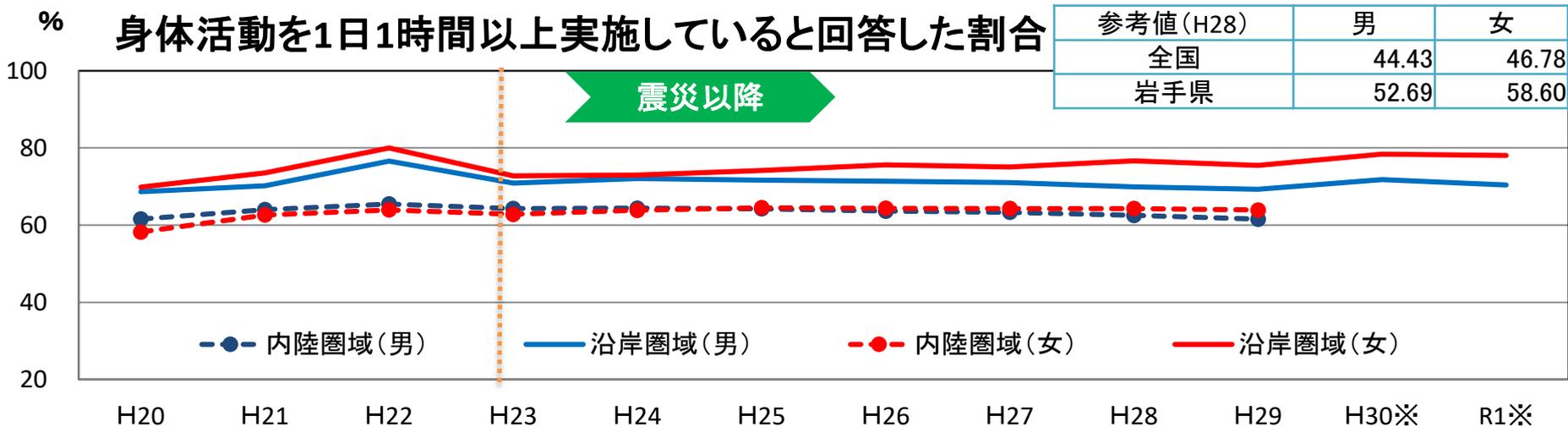
【参考】: 厚労省公表の第4回NDBオープンデータ(全医療保険者分の合計)。公表データ(H28)を基に環境保健研究センターで年齢調整割合を算出。

Ⅱ-8 運動習慣・身体活動(年齢調整割合)

1回30分以上の軽く汗をかく運動を
週2回以上、1年以上実施していると回答した割合



日常生活において歩行又は同等の
身体活動を1日1時間以上実施していると回答した割合



【参考】: 厚労省公表の第4回NDBオープンデータ(全医療保険者分の合計)。公表データ(H28)を基に環境保健研究センターで年齢調整割合を算出。

Ⅲ 血圧判定と服薬状況 詳細分析

岩手県国保・沿岸市町村国保

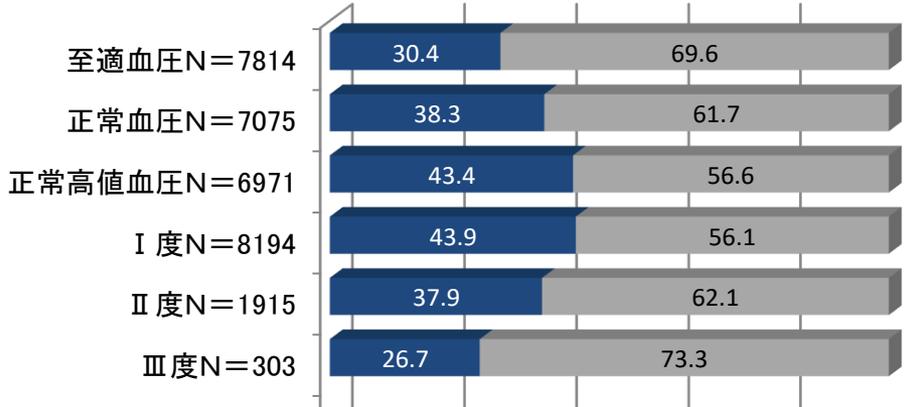
Ⅲ-1 血圧判定別血圧を下げる薬の使用状況

沿岸12市町村(H28-R1年度)・岩手県国保(H29年度)

沿岸12市町村

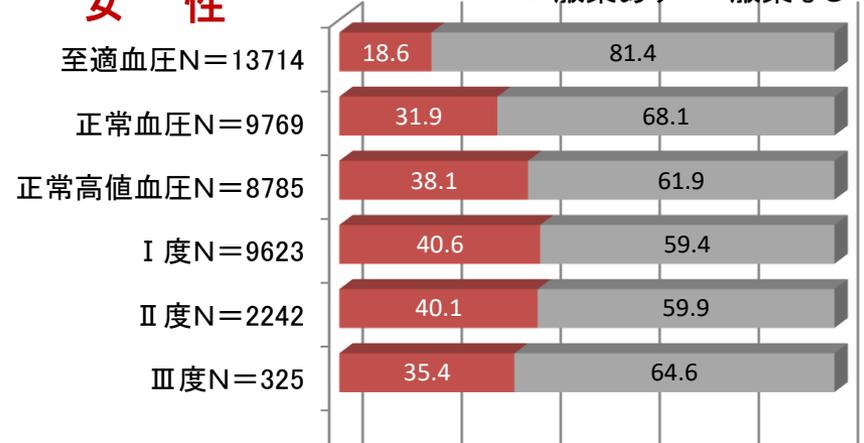
男性

■服薬あり ■服薬なし



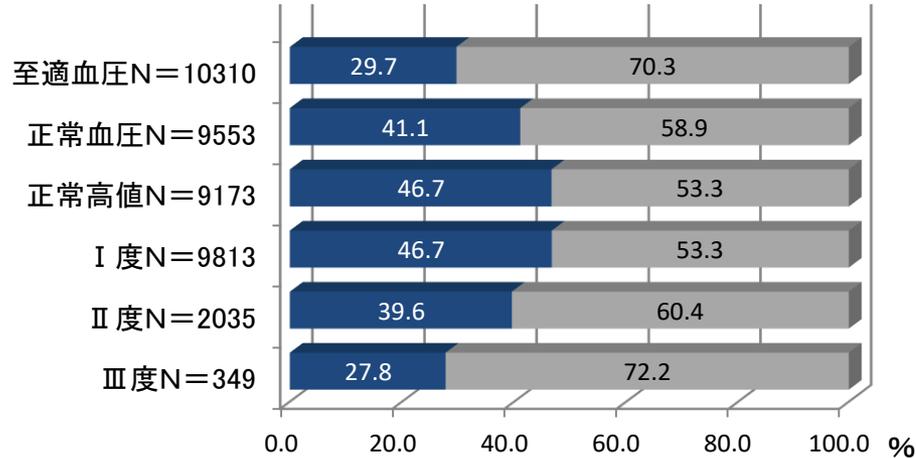
女性

■服薬あり ■服薬なし

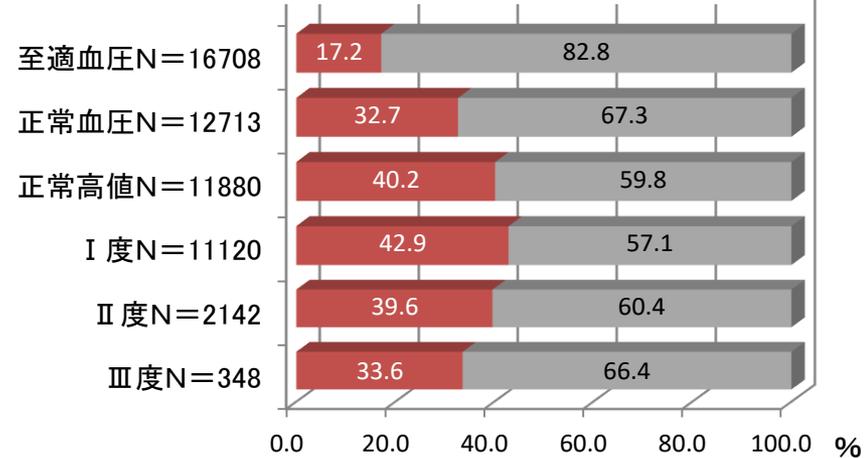


岩手県国保

男性



女性



血圧分類: 高血圧治療ガイドライン2014

〔血圧判定〕

至適血圧	<120 かつ <80
正常血圧	120-129 かつ/または 80-84
正常高値血圧	130-139 かつ/または 85-89

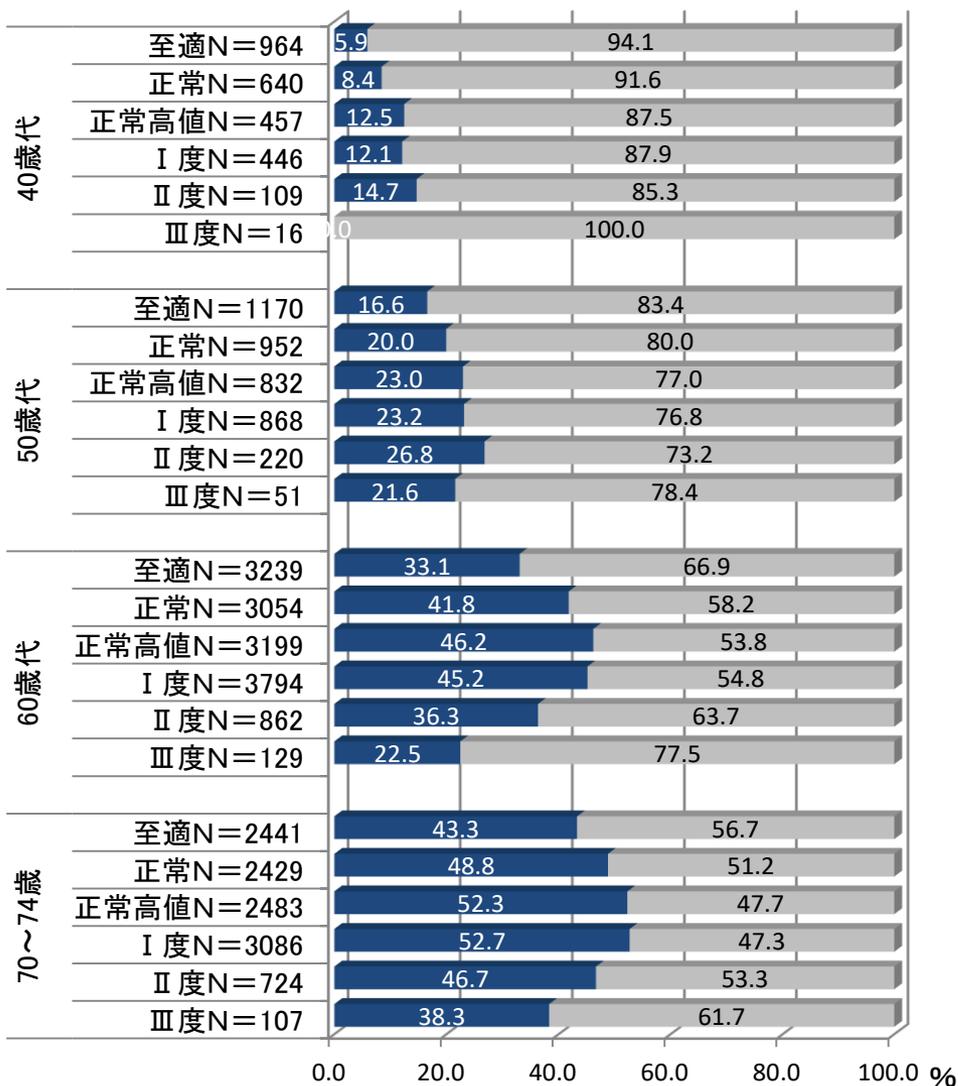
I度高血圧	140-159 かつ/または 90-99
II度高血圧	160-179 かつ/または 100-109
III度高血圧	180 ≥ かつ/または ≥110

Ⅲ-2 血圧判定別血圧を下げる薬の使用状況

沿岸12市町村（H28-R1年度 平均） 年齢階級別

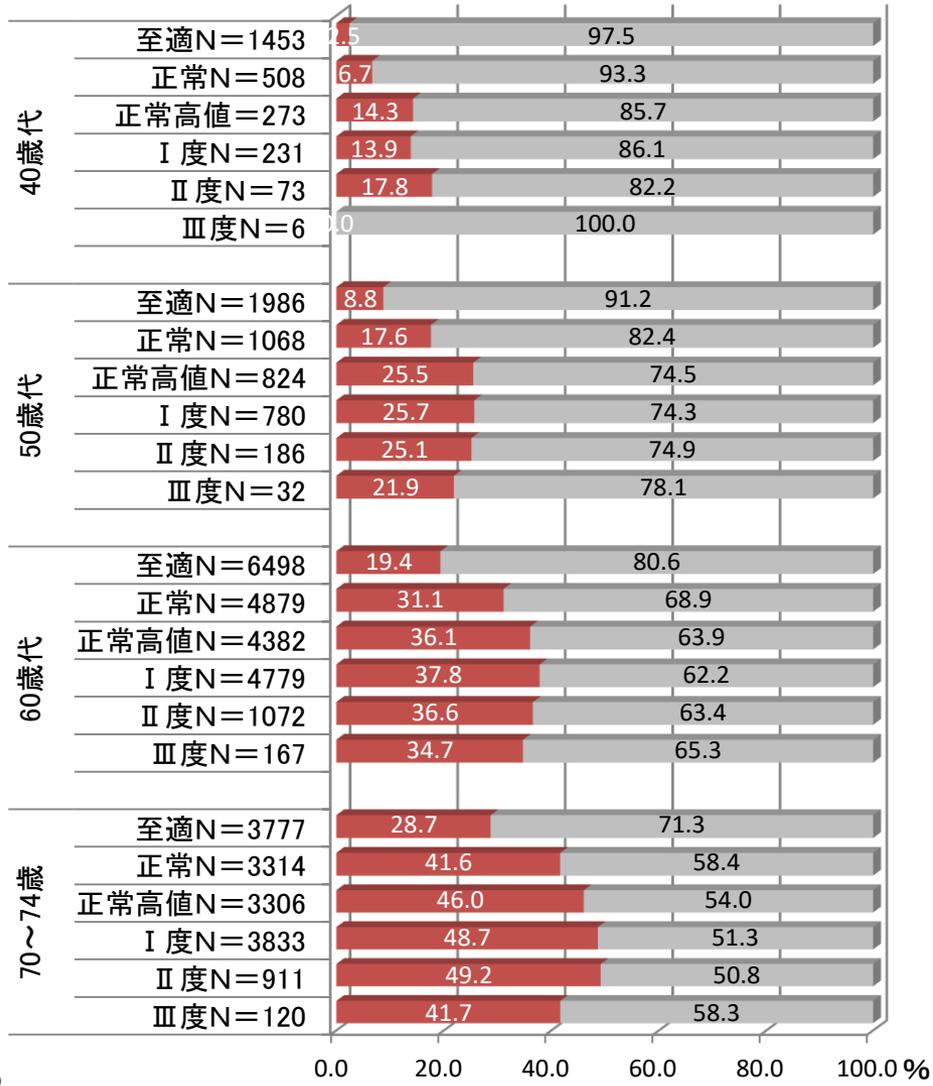
男性〔血圧判定〕

■ 服薬あり ■ 服薬なし



女性〔血圧判定〕

■ 服薬あり ■ 服薬なし



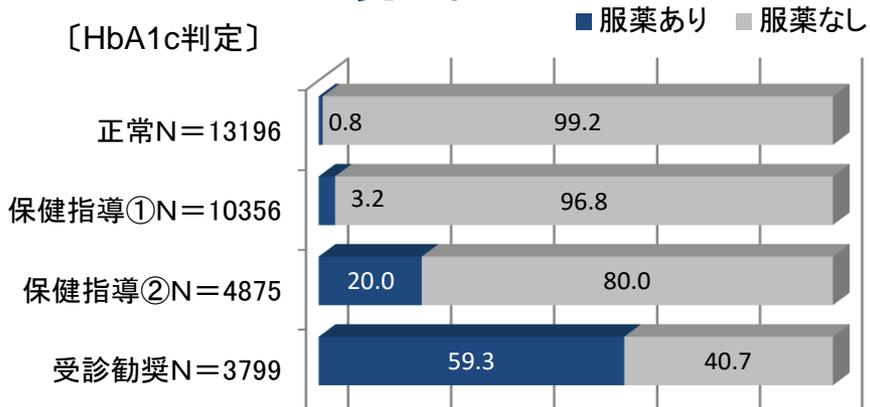
IV 血糖判定と服薬状況 詳細分析

岩手県国保・沿岸市町村国保

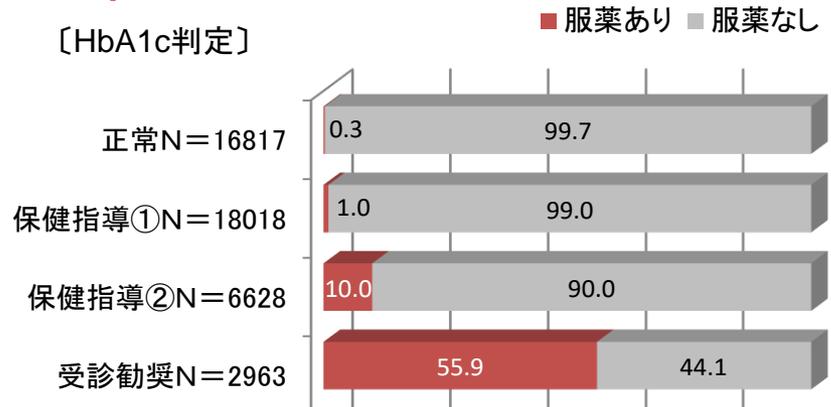
IV-1 HbA1c判定別血糖値を下げる薬の使用

沿岸12市町村(H28-R1年度)・岩手県国保(H29年度)

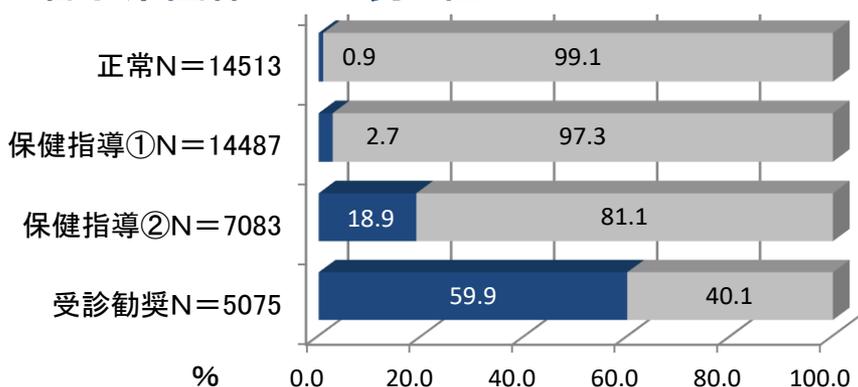
沿岸12市町村 男性



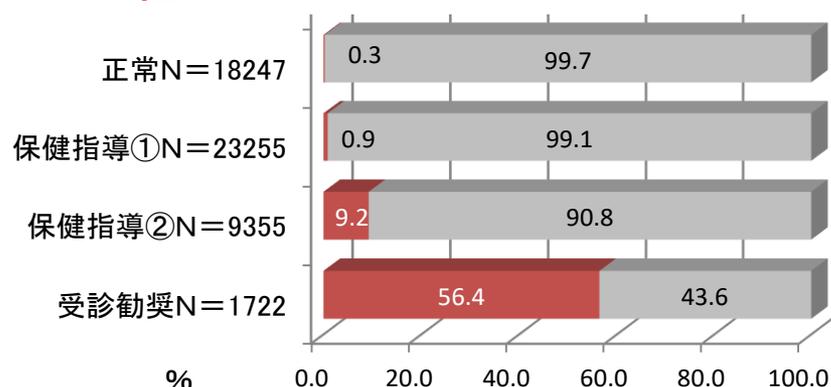
女性



岩手県国保 男性



女性



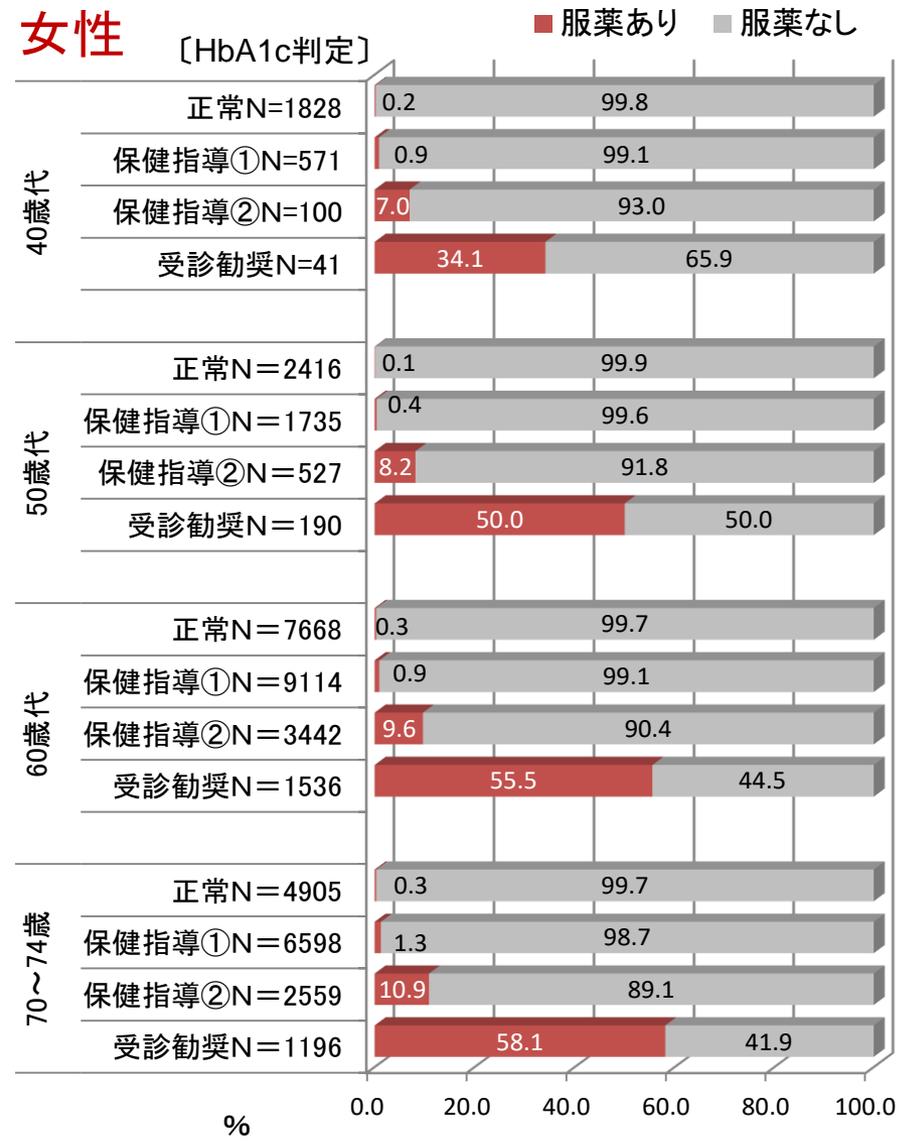
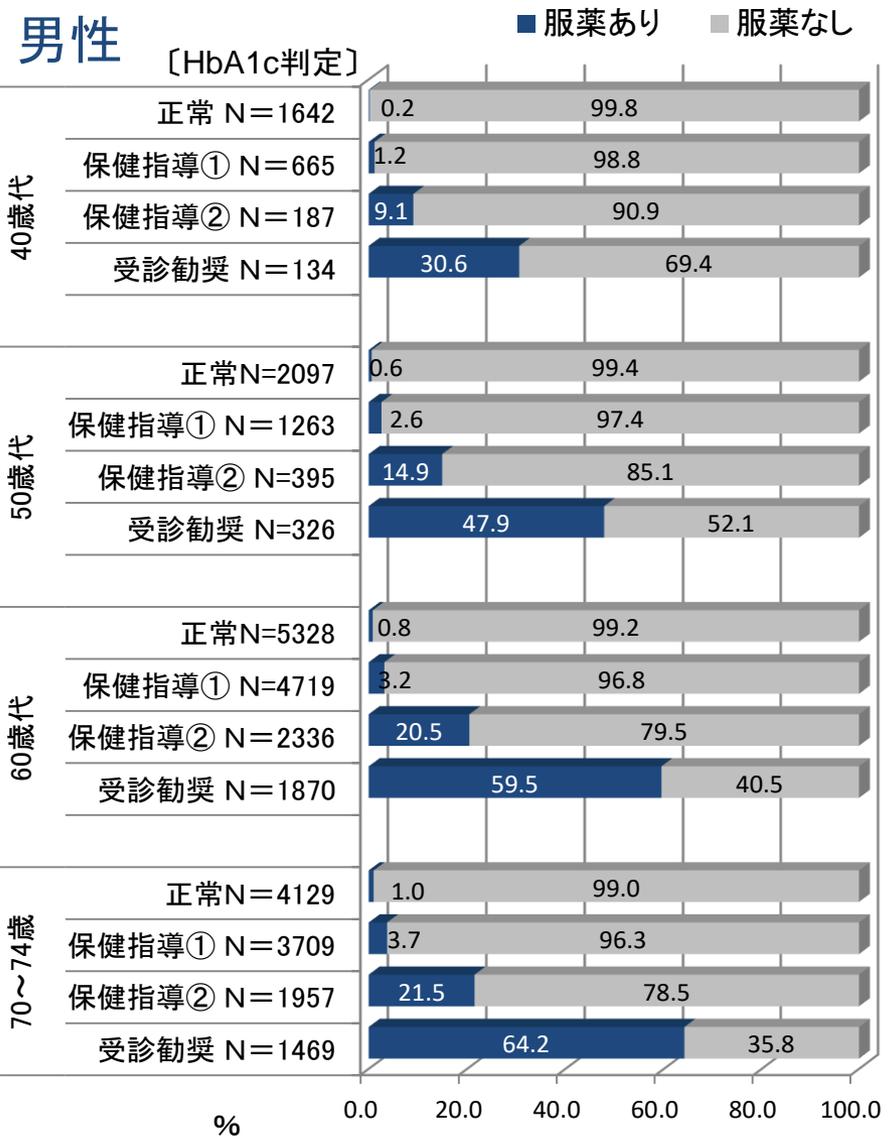
[HbA1c判定]	正常	5.6%未満
	保健指導①	5.6%以上6.0%未満
	保健指導②	6.0%以上6.5%未満
	受診勧奨	6.5%以上

[血糖コントロール目標]	血糖正常化を目指す際の目標	6.0%未満
	合併症予防のための目標	7.0%未満
	治療強化が困難な際の目標	8.0%未満

NGSP相当値(国際標準値)

IV-2 HbA1c判定別血糖値を下げる薬の使用

沿岸12市町村(H28-R1年度 平均) 年齢階級別



全体のまとめ

健診受診率の推移

受診率は年々増加しているが、県に比較し低率で推移
特に、釜石圏域で低率

定期健診は、発症予防や早期発見につながり、重症化予防の観点から、積極的な受診勧奨、受診機会の確保、未受診者対策などの受診率向上に向けた取組が重要



※今年度は新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛により、健診受診率、保健指導実施率の低下が推察

また、生活様式の変化に伴う運動、身体活動の低下、健康状態への影響が懸念

感染対策にも配慮した健診環境、体制の確保と効果的な受診勧奨の取組みと保健指導方法の工夫による健診受診率、保健指導実施率の向上を期待

年齢調整平均の推移

1. 項目別、地域別にみた状況

- BMI: 釜石の男性で上昇が顕著
- 収縮期血圧: 久慈の男女とも上昇が顕著
- HbA1c: 震災後増加したが平成28年度をピークに低下
- γ -GT: 釜石の男性で急増したが平成26年度以降低下
久慈の男性では保健指導対象値以上の
高値で推移

男性の収縮期血圧、HbA1c、 γ -GT
女性のHbA1cでは保健指導対象値以上で推移していること
から、血圧、血糖のコントロール、適正飲酒が重要

年齢調整割合の推移

1. 性別からみた課題

- 男性：BMI、中性脂肪、 γ -GT、睡眠休養、喫煙、飲酒、運動
- 女性：BMI、中性脂肪、睡眠休養、飲酒、運動

特に、男女とも多量飲酒者の増加、それに伴う γ -GTの上昇、睡眠による休養が取れない者の増加などは、震災後のストレスが影響したと推察

健康的な生活習慣にむけた指導とともに、適正な飲酒、質の良い睡眠、ストレスへの適切な対処法等の支援、メンタルヘルスと併せた取組みを期待

年齢調整割合の推移

2. 検査項目別にみた状況

- BMI、メタボ該当：男性で増加傾向
- 血圧、中性脂肪：男女とも緩やかに増加
- HbA1c：震災後、増加傾向だったが、近年減少傾向

血圧、血糖、脂質は脳血管疾患、心疾患の発症リスク要因であり、適正值の維持が重要

特に、岩手県は脳血管疾患の年齢調整死亡率が高率であり、若い世代からの健康的な生活習慣の確立を目指した取組み、生活習慣病予防活動を期待

年齢調整割合の推移

3. 質問票項目別にみた課題

- 運動習慣：震災直後に減少し、横ばい
内陸に比較し低率で推移
- 身体活動：震災直後に減少し、男性では横ばい、
女性では緩やかに増加
内陸に比較し高率で推移

震災直後は生活の再建が最優先で、運動する時間、余裕がなかったと推察

女性では身体活動の割合が緩やかに増加していることから、日常生活の中で、効率よく身体活動量を増やしていくなどの支援も期待

年齢調整割合の推移

4. 血圧、血糖の詳細分析からみた状況

- ・ 震災後、血圧、血糖値を下げる薬の服用が増加
- ・ 血圧判定でⅡ、Ⅲ度高血圧の方の6割以上、HbA1c判定で受診勧奨(6.5以上)の方の4割で「服薬なし」

震災後の医療環境の改善により、薬の服用等、適切な医療が提供されたと推察
また、医療費免除等の支援により、被災者が適切な医療を受ける機会の確保につながったと推察



地域医療と連携し、健診後の適切な受診勧奨、服薬支援等の必要な医療の提供と重症化予防のための保健指導の継続

各自治体での未受診者把握、受診勧奨者へのアプローチと併せて、受診後のフォローアップ体制の確保、強化を期待